第九十回帝國議會 衆議院 所得税法の一部を改正する等の法律案外二件委員會議録(速記)第五回

付託議案
所得税法の一部を改正する等の法律案(政府提出)
臨時租税措置法を改正する法律案(政府提出)
地方税法及び地方分與税法の一部を改正する法律案(政府提出)

昭和二十一年八月八日(木曜日)午前十時十四分

出席委員
委員長 苫米地義三君
理事 殿田孝次君 理事 中野武雄君
理事 深津玉一郎君 理事 八木佐太治君
理事 宮澤才吉君 理事 松永義雄君
理事 今井耕君
小川原政信君 坂本實君
田中實司君 寺尾豐君
平岡良藏君 江川爲信君
加藤高藏君 松岡運君
奥村又十郎君 川島金次君
榊原千代君 玉井潤次君
米山久君 太田鐵太郎君
原尻東君 増井慶太郎君
山下ツ子君 喜多楢治郎君

出席國務大臣
內務大臣 大村清一君
大藏大臣 石橋湛山君

出席政府委員
內務事務官 郡祐一君
內務事務官 荻田保君
大藏政務次官 上塚司君
大藏事務官 池田勇人君
大藏事務官 前尾繁三郎君

本日ノ會議ニ付シタ議案
所得税法の一部を改正する等の法律案(政府提出)
臨時租税措置法を改正する法律案(政府提出)
地方税法及び地方分與税法の一部を改正する法律案(政府提出)

○苫米地委員長 是ヨリ開會致シマス、質疑ヲ續行致シマス――田中實司君

○田中(實)委員 私ハ同僚諸君ガ色々ナ角度カラ御質問ニナリマシテ尙ホ御質疑ニナル方々ガ澤山ニオアリニナルヤウニ承知致シテ居リマスノデ、極メテ簡單ニ數種ノ點ニ付キマシテ御質シ致シタイト存ジマス、簡單率直ナ御意見ヲ承リタイト存ジマス

第一ニ御尋ネ致シタイト存ジマスノハ、昨日來主税局長カラ一應ノ御説明モアツタノデアリマスガ、尙ホ私承服シ得ヌ點ガアリマスノデ、重ネテ御所見ヲ承リタイト存ズルノデアリマス、ソレハ所得調査委員ノ問題ニ付テデアリマス、此ノ所得調査委員ト云フノハ此ノ税制ノ根本的ナ改革ト共ニ當然本質的ナ研究ヲ致シマシテ、全ク官トノ協力ニ依ツテ正シイ徵税ノ出來ルヤウナ本當ノ機關ニ改メラレナケレバナラヌト思フノデアリマス、現在ノ所得調査委員會ニ於キマシテハ幾多ノ缺陷ガアルノデアリマスガ、併シナガラ此ノ所得調査委員會ヲ廢止スルト云フコトニ付キマシテハ、何レノ點カラ考ヘマシテモ、私ハ之ニ對シテ贊意ヲ表スルコトガ出來ヌノデアリマスルガ、最近私ノ承知致シマスル所ニ依リマスト、來ルベキ機會ニ於テ所得調査委員會ヲナクスル、斯ウ云フヤウナ御意見ガ當局ニアルヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、殊ニサウナリマシタ上ニ於テハ所得ハ專ラ納税者ノ申告ニ重點ヲ置キマシテ、之ニ對シテ税務當局ノ見込ミヲ加ヘテ課税ヲスルト云フコトニ相成ルノダト云フヤウナ噂ヲ聞イテ居リマスガ、若シソレガ事實ト致シマスナラバ、私ハ非常ニ間違ツタ考ヘ方デアルト思フノデアリマス、之ニ對シテドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居ルカト云フコトノ御答ヘヲ得タイト思ヒマス

○池田(勇)政府委員 所得調査委員會ノ職能ニ付キマシテ、其ノ必要サハ我々モ十分存ジテ居ルノデアリマス、唯今ノ儘ノ組織デ十分所期ノ目的ガ達シ得ラレルドウカト云フ問題ニ付キマシテハ私ハ今ノ儘ノ機構デハイケナイ、置クトスレバモツト擴充強化シ、サウシテ本當ノ意味ニ於テノ徵税官吏ノ「アドバイザー」トシテ、十分働キ得ルヤウナ制度ニ致サナケレバナラヌト思ツテ居リマス、唯色々ナ考ヘ方デ、民主的ナ税制トシテ所得調査委員會ヨリ外ニハナイカト申シマスト、今「アメリカ」デヤツテ居リマスヤウニ納税者ノ申告ヲ主題トシ、之ニ税務官廳ノ調査ヲ當嵌メテ、申告ト調査ガ合ツテ居ルノハ其ノ儘デ通シマス、合ツテ居ナイ場合ニ付キマシテハ税務官廳ノ、認メル所デ決定シ、別ニ調査委員會ニ代ルベキ租税裁判所ト云フモノヲ設ケテ行ク手モナイコトハナイ、其ノ何レニ據ルカト云フコトハ餘程國情其ノ他カラ考ヘテ決メルベキ問題ダト、斯ウ只今ノ所思ツテ居ルノデゴザイマス、何レニ致シマシテモドチラニ據ルカハ今後研究スベキ重要ナ問題ト考ヘテ居リマス

○田中(實)委員 私ノ御尋ネ致サント致シマシタ所ハ、大體税務當局ニ於カレマシテハ來年度ノ税制ノ改正ト共ニ、此ノ所得調査委員會ト云フモノヲ廢止スルト云フ御意見ガ確立シテ居ルヤウニ承ツテ居ルノデアリマスガ、左樣ナ域ニハ達シテ居ラナイ、マダ色々ナ角度カラ只今御述ベニナリマシタヤウナ研究ノ時代デアル、斯樣ニ承知致シテ宜イノカ、何レガ正シイノカ其ノ點ヲ伺ヒタイ

○池田(勇)政府委員 只今所得調査委員會制度ヲ擴充强化シテ存續スベキヤ、又別ニ租税裁判所ノヤウナ制度ヲ之ニ代ヘテ行クベキヤノ點ハ研究中デゴザイマス

○田中(實)委員 次ニ私ガ御伺ヒ致シタイト思ヒマスノハ、所謂戰時中ニ中シテ居リマシタ所ノ新興所得階級ニ關スル當局ノ御意見デアリマス、先日主税局長ノ御説明ニ依リマスト、今回ノ改正等ニ於キマシテ、法人ニ對スル課税ハ、終戰以後法人ガ非常ニ不利ナ立場ニナツテ、其ノ所得モ甚シク減退シテ居ルノデ、此ノ見積ニ於テハ相當ノ減額ヲ見込ンデ居ル、斯樣ナ御説明ヲ致サレタヤウニ承知致シテ居ルノデアリマスガ、私ハ戰時中ノ正シイ意味ノ新興所得階級ト云フモノニ付キマシテハ左樣ナ考ヘ方ヲ持ツコトガ出來ルノデアリマスガ、此ノ終戰後ノ所謂經濟的ナ混亂ニ乘ジマシテ色々ナ方面ニ頭ヲ擡ゲテ來マシタ所ノ新シイ階級ガアルコトヲ見逃シテハナラヌト思フノデアリマス、今日私共ノ考ヘ方ニ依リマスルト、二十萬圓以下ノ所謂商事會社等ニ於キマ

シテハ、終戰ノ混亂ニ乘ジテ相當多額ノ收益ヲ得テ居ル面ガ多イト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、而モ此ノ多額ノ收益ヲ得テ居ル終戰ニ依ル所ノ便乘的ナ小サナ會社ガ實際ニ於テ納税ノ對象トシテハ極メテ小サク見ラレテ居ル、斯ウ云フヤウナ點ハ、徵收、技術ノ點等ニ於キマシテモ相當困難ナ面ガアルダラウト思ヒマスケレドモ、徹底的ニ之ヲ徵税スルヤウハ措置ヲ講ゼラレナケレバ、單リ租税ノ點カラ考ヘルバカリデナク、國民ノ人心ニ大キナ惡影響ヲ與ヘルヤウナ點カラ考ヘマシテモ、是ハ十分ニ御研究ニナリ、又是ガ萬遺算ナキ徵税ヲ見ルヤウナ御措置ヲ御執リニナラナケレバナラヌト思ヒマスノニ、私ハ法人ノ所得ガ本年度ニ於テ著シク減退スルガ如キ御言葉ヲ承リマシタコトニ對シテ承服シ難イノデアリマスガ、此ノ點ヲ一ツ御説明願ヒタイ

○池田(勇)政府委員　終戰後ニ於ケル所謂法人ノ利益狀況ハ、私ノ見マス所デハ非常ニ惡化致シテ居リマス、是ハ全體的ノ觀察デアリマシテ、個々ノ法人ニ付キマシテハ必ズシモサウデナイ例外的ノモノモアルト思ヒマス、御話ノ二十五萬圓以下程度ノ小法人ニ付キマシテハ、法人税全體ト致シマシテノ税額或ハ利益金額ハ非常ニ微々タルモノデゴザイマス、法人ノ税額ノ七割以上ハ五百萬圓以上ノ會社ガ納メテ居ル、斯ウ云フ狀況デゴザイマシテ、二十萬圓程度以下ノ法人ハ、數コソ法人數ノ七、八割ヲ占メテ居リマスルガ、利益金額税額ニ至ツテハ徵々タルモノデゴザイマシテ、法人税ノ收入ヲ左右スル程度ニハ相成ツテ居リマセヌ、隨テ法人税全體ト致シマシテハ、終戰後利益狀況ガ下ツテ居リマスノデ、税收ハ非常ニ減收ヲ見込ンデ居リマス、二十萬圓以下ノ法人ノ利益狀況ハドウカト云フ問題ニナルト、是ハ大體個人ト同ジヤウナ經過ヲ辿ルモノデアリマシテ、中ニハ非常ナボロ儲ケヲシテ居ル會社モアルト思ツテ居リマス、從來小法人ニハ法人税ヲドウ云フ風ナ方法デ課税シテ居ツタカト申シマスト、經營ノ實體ガ大體個人ト似テ居ルモノデアリマスルカラ、個人ノ課税狀況ヲ勘案致シマシテ、法人ニモサウ云フ方法デ例ヘバ業種別ニ法人ヲ分ケマシテ、サウシテ個人ヲ決メルヤウナ頭デ法人税ヲ決メテ居ル次第デアリマス、隨ヒマシテ、御話ノ如ク小法人ナルガ故ニ個人ヨリ特別ニ課税ガ安クナルト云フコトハ絶對ニナイヤウニ努力致シテ居ル次第デアリマス

○田中(實)委員　御説明一應了承致シマシタガ、私ハ聊カ見解ヲ異ニトル者デアリマス、勿論御示シニナリマシタヤウニ、法人税ノ大部分ハ五百萬圓以上ノ大資本ヲ擁スルモノヲ對象トシテ取ル額ノ方ガ多イト云フコトハ私共モ事實デアラウト思ヒマス、併シ私ハソレニ對シマシテ承服シ難イ點ト申シマスノハ、徵々タル徵税デアル所ノ二十萬圓以下ノ小會社ガ、終戰後脱税其ノ他ノ不法ナル行爲ヲ逞シウセントスルガ爲ニ雨後ノ筍ノ如ク出來上ツテ居ルノデアリマシテ、而モ是等ノ會社ニ付キマシテハ、私共ノ承知シテ居ル範圍内ニ於キマシテラ、五百萬圓乃至ハ一千萬圓ノ資本ヲ持ツテ居ル大會社以上ノ收益ヲ得テ、税ノ面ニ於テハ相當逋脱ヲシテ居ルト云フヤウナ點ガ相當濃厚デアル、左樣ニ考ヘマスルガ故ニ、斯ウ云フヤウナ點ニ付テ當局ハ御承知ニナツテ居ルカ、又若シ御承知ニナツテ居ルナラバ、之ヲ何處マデ追及シテ税ノ衡平ヲ御圖リニナル御所存デアルカト云フコトヲ承リタイト思ヒマス、若シソレ二十萬圓以下ノモノニハ左樣ナ事實ガナイト云フコトヲ御認メニナリマスルナラバ、私ハ證據ヲ示シテ御伺ヒ致シタイト思フノデアリマス

○池田(勇)政府委員　二十萬圓程度以下ノ小法人ニ對シマシテノ課税ハドウ云フ風ニヤツテ居ルカ、斯ウ云フ御質問デゴザイマスガ、實ハ昭和十年頃カラ個人ニ對スル調査ガ相當徹底シマスト、ソレニ連レマシテ個人ガ相當法人ニ組織變更致シマス、税務署ハ、法人ニ組織變更スル場合ニ、個人トハ計算ノ方法ガ違ヒマスノデ、法人ニナツタガ爲ニ負擔ガ安クナルト云フヤウナコトデハイケナイト云フノデ、法人ニナツタ個人ニハ特ニ注目致シマシテ調査ヲ嚴重ニ致シテ參ツテ、居ルノデアリマス、其ノ後會社經理統制令等ノ關係デ、二十萬圓未滿ノ會社ガ非常ニ續出致シマシタ、ソコデ從來ノ方針ヲモツト強化致シマズルト共ニ、個人ト同樣ニ、先程申上ゲマシタヤウニ、業種別ニ分ケ、サウシテ大體ノ標準率ヲ作リ、其ノ上ニ又特ニボロ儲ケシタヤウナ會社ニ付キマシテハ特ニ嚴査スル、斯ウ云フ方法デ出來ルダケノ努力ハ致シテ居リマス、一時サウ云フ風ナ調査方法ヲヤリマシタノデ東京、大阪方面デ可ナリノ問題ヲ起シタノデアリマスガ、斯クスルコトガ個人小法人間ノ負擔ノ均衡ニ適合スルト云フノデ、今モ尚ホ其ノ方法デ行ツテ居ルト思フノデアリマス、勿論個人ニ於キマシテモ非常ナ多額ノ利益ヲ上ゲテ居ラレル人ガアルト同樣ニ、小法人ニ付キマシテモ莫大ノ利益ヲ上ゲテ居ル會社ガ相當アルト思ヒマス、是等ニ付キマシテハ及ブ限リノ調査ヲ致シマシテ課税ノ充實ニ努メテ居ル次第デゴザイマス

○田中(實)委員　私ノ御尋ネ致サウトスル所ト少シ角度ガ違フヤウニ考ヘルノデアリマス、私ハ其ノ點ハヨク諒承致シタノデアリマスガ、モウ少シ具體的ニ申上ゲマスルト、終戰後ニ於キマシテ、軍ノ放出其ノ他ノ物資ヲ個人ガ拂下ゲ其ノ他ノ處置ニ依ツテ取得シテ居リマスモノヲ、個人ノ營業ノ儘ニ於テハ是ガ非常ニ課税ノ對象トナツテ重イ税ヲ負ハナケレバナラヌト云フ關係カラ、商事會社等ヲ所在ニ拵ヘマシテ、サウシテ合法的ニ是等ノ商事會社ノ運營ノ面ニ取入レマシテ、ソレカラ生ズル所ノ利益ヲ免レテ居ルト云フヤウナ例ガ全國ニ相當澤山ニアルノデアリマス、是ガ延イテハ今日非常ニ社會ニ喧シイ問題ニナツテ居リマス所ノ隱退藏物資等トモ關聯ガ多イノデアリマス、斯樣ナ點カラ、一方ニ於テハ國民ガ物資ノ不足ニ依ツテ生活ニ非常ニ喘イデ居リマス面カラ考ヘマシテモ、斯樣ナ物資ヲ正常ナ「ルート」ニ流サナケレバナラヌト云フコトハ當然デアリマスガ、此ノ面ノミナラズ、一面租税ノ面ニ於キマシテ、斯樣ナ多額ノ收益ヲ得テ居ル者ガ免レテ居ル面ガ非常ニ多イ、之ニ對シテ税務當局ノ手ガドコマデ伸ビテ居ルカ、又將來ニ亙ツテサウ云フヤウナモノヲ徹底的ニ調ベ上ゲテ課税ノ對象トシテ十全ヲ期シテ行カレルト云フコトニ對シテノ當局ノ御心構ヘ等ヲ承リタイト思ツタノデアリマス

○池田(勇)政府委員　課税ノ充實

ヲ期シマス爲ニ調査ノ徹底ヲ期シマスロトハ小法人或ハ個人、大法人皆同ジコトデゴザイマス、終戰後ニ於キマシテ、經濟界ガ非常ニ混亂ニ陷ツタ時ニボロ儲ケヲスル人ノ相當アルコトハ、是ハ歷史ノ示ス所デゴザイマシテ、我々ト致シマシテハ十分意ヲ盡シマシテ課税ノ衡平ヲ期シタイト思ツテ居ルノデアリマス、而シテ個人組織ガ法人組織ニナリマシタカラト云ツテ、税ノ負擔ガ輕クナルヤウニハ今ノ税制ハ出來テ居ナイノデアリマス、御話ノ所謂軍ノ物資等ニ依ツテボロ儲ケシタモノニ限ラズ、今デモ色々ナ請負事業デ相當ノ儲ケヲシツヽアル方面ガアルノデゴザイマスカラ、十分手配ハ致シテ居ル次第デアリマス

○苫米地委員長 田中君ニ御相談致シマス、大臣ガ外ニ御出ニナルヤウデスカラ、大臣ニ對スル御質問ヲ先ニ……

○田中(實)委員 ソレデハ主税局長ニ御尋ネ致シタイコトガマダ數點ゴザイマスガ、大臣ニ對スル御尋ネヲ先ニ致シテ、後程又主税局長カラ色々承リタイト思ヒマス、實ハ私ハ本日御質疑ヲ中上ゲタイト思ヒマスルノハ、只今御尋ネ申上ゲマシタモノヽ外ニ、或ハ綜合課税ノ問題デアルトカ、甲種勤勞所得ノ問題デアルトカ、又今日非常ニ大キナ問題トナツテ居リマスル所ノ遊興飮食税ノ問題、斯ウ云フヤウナ問題ニ付キマシテ、社會デハ色々ト喧シク申シテ居ルノデアリマスルガ、結局之ヲ綜合致シテ考ヘマスルト、是等ノ税ガ、今日我ガ國ガ民主國家トシテ立直ラウトスル上ニ於テ、多額ノ増税ニナツテ居ルケレドモ、今日立直ル上ニ於テハ已ムヲ得ザルモノトシテ、國民ハ恐ラク此ノ増税ニ對シテ齒ヲ食縛ツテデモ忍ブデアラウト思フノデアリマスルガ、唯此ノ問題ノ論議ノ中心トナツテ居リマスルノハ、兎ニ角色々ナ税ノ面ニ於キマシテ、其ノ税ノ本來ノ目的ヲ達シテ居ラヌ、即チ税法ノ權威ヲ甚シク失墜シテ居ルヤウナ事態ガ隨處ニ起ツテ居ル、言葉ヲ換ヘテ申シマスナラバ、此ノ徴税ガ均分化サレ、公正化サレテ居ラヌト云フ所ニ私ハ色々ナ論議ガ起ツテ來ルノダラウト思フノデアリマス、昨日カ一昨日カ、主税局長カラモ御話ニナリマシタヤウニ、租税ノ公正ト云フコトハ、是ハ租税ノ生命デアルト、斯樣ニ仰セニナツテ居ルノデアリマスガ、私ハ其ノ通リダト思ツテ居リマス、此ノ生命デアル所ノ公正ガ期セラレテ居ラヌト云フ所ニ其ノ税制ニ付キマシテノ論議ガアルノデアリマス、一ツノ例ヲ擧ゲマシテモ、甲種勤勞所得ニ對シマシテ色々ナ議論ガアリマスルガ、勤勞ハ決シテ國民ノ義務トシテ納税ヲ免レヨウト致スモノデハアリマセヌ、勤勞ハヤハリ國民ノ義務トシテ、國家ガ起キル上ニ、國家財政ノ上ニ寄與貢獻シタイト云フ熱意ハ十分ニ持ツテ居ルノデアリマスルガ、此ノ勤勞者ノ義務ニ對シ、其ノ他ノ事業所得等ガ甚シク均分ヲ缺イテ居ルト云フコトハ、税率ノ上ニ於テハ均分ヲ缺イテ居ラヌト仰セニナルカ分リマセヌガ、其ノ徴税ノ末端ノ技術ノ面ニ於テ非常ニ均分ヲ缺イテ居ル、譬ヘテ申シマスナラバ、事業所得ニ於キマシテハ、是ハ免レ若シクハ缺クル點ガ非常ニ多イノデアリマス、併シ勤勞所得ハ明々白々鏡ニ掛ケタルガ如ク其ノ所得ニ對シテハ百「パーセント」課税サレテ居ルノデアリマスルガ、其ノ他ノ租税ニ於キマシテハ、今日ノ所謂徴税技術ヲ以テシテハ、決シテ全キヲ期スルヤウナ徴税ハ出來ナイト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、玆ニ甚シク勤勞者ト一般ノ事業所得者トノ不均衡ガアル、私ハ之ニ對シテ、勤勞所得階級ハ全面的ニ反對ヲ致スデアラウト考ヘタノデアリマス、然ラズシテ唯勤勞者ナルガ故ニ此ノ税ヲ減免サレタイト云フコトハ、私ハ國民ハ決シテ考ヘテ居ナイト思フノデアリマス、斯樣ナ意味カラ考ヘマス時ニ、私ハ何ト致シマシテモ、租税ノ生命デアル所ノ公正、適正ヲ期スル上カラ致シマシテ、今回ノ大増税ノ點ハ暫ク措キマシテモ、將來ニ亙ツテ確乎不拔ノ税制ノ根本的ナ改革ヲ行ハレテ、而モソレハ民主的ナ方向ニ向ハナケレバナラヌ、官モ民モ渾然一ツニナツテ、本當ニ國ノ財政ヲ賄ツテ行クト云フ氣持デ渾然一體ニナラナケレバナラヌト云フコトハ申スマデモナイコトデアリマスルガ、之ニ對シマシテハ今日ノ税制ヲ以テシテハ、到底所期ノ目的ヲ達スルコトハ出來ヌト思フノデアリマス、隨ヒマシテ私ハ、此ノ際大藏大臣ハ少クトモ今日ノ豫算ニ於テ、今日ノ税制改革ニ於テ、直チニソレヲ實施スルコトハ出來ナクテモ、將來ニ固イ約束ヲ國民ニ向ツテサレナケレバ、國民ハ安心シテ此ノ納税ノ負擔ヲ負フコトハ出來ナイノデアリマシテ、前途ニ大キナ不安ヲ持ツデアラウト云フコトハ、是レ亦當然デアラウト私ハ考ヘルノデアリマス、左樣ナ意味合ヒカラ過日同僚上林山君カラ大藏大臣ニ向ツテ此ノ點ヲ御質シニナツタノデアリマスガ、私ハ遺憾ナガラ大臣ノ御言葉ニ對シテ承服スルコトハ出來ナカツタノデアリマス、私ハ少クトモ國民ガ本當ニ苦シイ中カラ起チ上ツテ、此ノ政府ヲ支持シテ、サウシテ打ツテ一丸トナツテ、國ヲ建直サウトスル大切ナ時ニ、財政ノ切盛ノ責任ニ立ツテ居ル大藏大臣ノ、過日ノ御言葉ヲ藉リマスト、此ノ根本改正ニ付テハ委員會其ノ他ニ於テ愼重ニ審議シテ、新シキ税制ノ根本的改革ヲ行フト云フヤウナ御言葉デアリマスルガ、私ハ是デハ相成ラヌト思ヒマス、大藏大臣ハ大藏大臣自ラノ確乎不拔ノ經綸ト、サウシテ抱負ヲ御持チニナツテ居ラナケレバナラヌト思ヒマス、此ノ抱負經綸ハ何モノニモ制約サレナイモノデナケレバナラヌト思フノデアリマス、此ノ信念ニシテ若シ容レラレズンバ、潔ク其ノ職ヲ去ルト云フダケノ御決心ヲ以テ、此ノ大切ナル税制ノ根本的改革ヲ行ツテ戴カナケレバナラヌト思ヒマスノニ、甚ダ微温的ナ御答ヘヲ得マシテ、私ハ聊カ失望ヲ致シテ居ルノデアリマス、隨テ私ハ此ノ席上ニ於キマシテ、大藏大臣ハドウ云フ自分ノ抱負ヲ持チ、ドウ云フ目途ニ向ツテ此ノ根本的ナ税制ノ改革ヲ行ハレルカト云フコトニ付テ、率直ナル御意見ヲ承リタイト思ヒマス、私ハナゼ左樣ナコトヲ申スカト申シマスト、此ノ根本的ナ大臣ノ御意見ガ決マリマセヌト、今回ノ増税案ニ對シマシテモ國民ハ非常ナ不安ヲ懷イテ居ルノデアリマスカラ、更ニ將來ニ向ツテ一層ノ不安ヲ擴充致シマシテ、是ガ軈テ我ガ國再建ノ爲ニ大キナ弊害トナルト云フヤウナコトヲ私ハ憂フルノデアリマス、殊ニ今日マデノ政策ハ、私ハ昨日來御話ヲ承ツテ居リマスルケレドモ、形ノ上ニ於テハ世界ノ水準以上ノ理想的ナ税制デアルト云フヤウナ御言

葉ヲ承ツテ居リマス、私ハ左様ダト信ジテ居リマス、併シナガラ其ノ實際ノ形ヲ整ヘタダケデ實質的ナ税ノ徴收ニ當ツテ、又納税者モ本當ニ心カラ協力シテ納税ヲスルト云フヤウナ本當ノ税ノ目的ノ本質ノ點ニ至リマシテハ、私ハ遺憾ナガラ世界ノ水準以下ダト思ツテ居リマス、私ハ其ノ理由ヲ何處ニ求メルカト申シマスト、永イ間ノ傳統ト、徴税ノ末端ニ於ケル技術ノ混亂デアル、更ニ又言葉ヲ改メテ申シマスルナラバ、税務ノ方面ニ於テハ甚ダシク非民主的デアツテ、今日モ尚ホ其ノ弊風ハ去ラナイ、警察當局ハ民主主義的ナ本當ノ行キ方ニ脱皮シテ、營々トシテ今日色々ナ方面ニ御努力ニナツテ居ルヤウニ私ハ聞イテ居リマス、是ハ洵ニ結構ダト思ヒマスガ、單リ此ノ税務ノ關係ニ於キマシテハ依然トシテ舊態依然タル、所謂人ヲ見タラ泥棒ト思ヘ、納税者ヲ見タラ脱税者ト思ヘト云フヤウナ考ヘ方ニ依ツテ、所謂苛斂誅求ヲ行ハレテ居ル面ガ相當ニ多イノデアリマス、斯カル場合ニ於キマシテハヤハリ人情ト致シテ、何トカシテ少シデモ免レタイト云フヤウナ氣持ヲ起ス、又税ヲ課スル方面ニ於キマシテハ少シデモ多ク之ヲ徴リタイト云フヤウナ、雙方ノ意欲ノ混亂ニ依リマシテ、國家ガ目的トシテ居ルヤウナ所ニハ少シモ進ンデ行カナイト云フノガ、今日マデノ歴史ト傳統デアルト私ハ考ヘマス、斯様ナ歴史ト傳統ヲ少クトモカナグリ捨テテ、本當ノ民主的ナ税制ノ確立ヲ致サウトスル時ニハ、前段私ガ申上ゲマシタヤウナコトニ付テ異常ノ御決心ヲ御披瀝ニ相成リマシテ、ソレデ其ノ方途ニ勇敢ニ御進ミ願フト云フコトガ最モ大切ナコトダト私ハ存ジマスガ故ニ此ノ點ニ付キマシテ甚ダ失禮デアリマスケレドモ、大臣ノ率直ナル御意見ヲ承リタイト思フノデアリマス

○石橋國務大臣　租税ガ如何ナル原則ニ依ツテ課セラルベキカト云フコトハ御承知ノ通リ既ニ略〻内外ヲ通ジテ決定シタ原則ガアル譯デアリマシテ、簡單ニ申セバ國民總テガ其ノ能力ニ應ジテ國家ノ費用ヲ出ス所謂應能主義デアリマス、随テ不勞所得ハ先ヅ理想的ニ申セバ全部之ヲ國家ニ回收スルト云フコトカラ行カナケレバナラヌト思フノデアリマス、唯併シナガラ是ハ理論ハ租税ト云フモノハ比較的簡單ナモノデアリマスガ一面ニ於テ非常ニ技術ヲ要スル問題デアリマシテ、御質問ノ點モ大體ソレノ側面カト考ヘラレマス、御示シノ如ク日本ノ今日ノ税制ハ税制トシテハ相當完備シテ居リマスガ、其ノ實行ニ當ツテ目的通リニ行カナイト云フ弊ガアルコトハ十分私モ認メテ居リマシテ、之ヲ何トカ改善致サナケレバナラヌト存ズル譯デアリマス、ソレ等ノ點モ是ハヤハリ非常ニ難カシイ技術ニ關スルコトデアリマスカラ、政府ニ於テハ政府ノ色々ノ今マデノ經驗ニ依リマシテ考ヘモソレ〲持ツテ居ル譯デアリマスケレドモ、尚ホ之ヲ民主化スル爲ニハ各方面カラ委員ニナツテ裁キマシテ、篤トソレ等ノ點ヲ考究スル必要ガアルト考ヘテ居ル譯デアリマシテ、随テ私ハ此ノ前調査會ヲ設ケテソレ等ノ根本的問題ヲ解決シタイト申上ゲタ次第デアリマス、御質問ノ要點ハ税務官吏ガ非民主的デアツテ、納税者ガ之ニ反撥ヲシテ納税ヲ好マナイヤウニナルト云フ御話デアリマス、是ハ如何ニモ御尤モデアリマシテサウ云フ點ガアルト存ジマス、併シ同時ニ是ハヤハリ國民全般ノ納税觀念ノ改善モ要スルコト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、所謂所得税ノ如キハ良心課税ト言ハレルヤウナモノデアリマシテ、實際ニ如何ナル細密ナ調査機關ヲ持ツテ居リマシテモ、各人ノ本當ノ所得ヲ外カラ摑ムト云フコトハ中々困難ナ仕事デアリマシテ、随テ脱税ヲショウト云フ意思ガアル場合ニハ、ドウシテモ其ノ脱税ハ、如何ニヤリマシテモ隅カラ隅マデ之ヲ防止スルト云フコトハ出來ナイヤウナコトニナリマス、デアリマスカラ税務行政ニ付テハ大改善ヲ施スト同時ニ、國民全般ノ納税觀念ニ付テノ考ヘ方ヲ漸次改善致スヤウナ方向ヘノ一ツノ精神運動思想運動モ要スルモノト考ヘテ居ル次第デアリマス

○田中(實)委員　マダ私ハ分リマセヌガ、併シ角度ヲ變ヘテ端的ニ御尋ネ致シタイト思ヒマスガ、大臣ハ斯ウ云フコトヲ御考ヘニナツテ居リマセヌカラ、今マデノ納税ハ上カラ、所得官僚デアルトカ、軍デアルトカ云フ一連ノ繫リヲ以テ上カラ押付ケタ税デアル、一ツノ法規ノ下ニ上カラ押付ケタ税デアル、是カラノ日本ガ平和國家トシテ立上ル、而モ此ノ國ヲ國民ガ全部デ盛立テテ行カウト云フ氣持ノ上カラノ納税ハ、國民ガ下カラ、自分自ラ税ヲ收メルノダト云フヤウナ氣持ニナラナケレバイカヌ、是ハ申スマデモナイコトダト思ヒマス、大臣ノ御言葉モ其ノ點ニアツタト思ヒマスガ、サウ云フヤウナ方向ニ導キマスニハ、獨リ是ハ教育バカリデハイケナイト思ヒマス、現在ノ法規ヲ根本的ニ考ヘ直サナケレバナラヌ、所得税制ヲ考ヘ直サナケレバナラヌ、サウ云フヤウナ意味カラ此ノ税制ヲ改革サレル場合ニハ、官モ民モ一緒ニ此ノ納税ノ質ヲ舉ゲサセルヤウナ極メテ幅ノ廣イ民主主義的ナ御改革ヲ行ハレル御意思ガアルカナイカ、之ヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○石橋國務大臣　具體的ニハドウ云フコトヲ御考ヘニナツテ居ラレルカハツキリ承リ得ナイノデアリマスガ、無論今メ御言葉ノヤウナ意味ノ改革ト云フモノハ之ヲ行ハナケレバナラヌモノト考ヘテ居リマス、唯今マデノ税デモ、上カラ押付ケタト云フ御趣意モドウ云フコトカ七分具體的ニ分ラナイノデアリマスガ、租税ハ議會ノ御審議ヲ經ナケレバドウニモナラナイ、随テ此ノ場合ニ此ノ民衆ノ代表デアル議會ニ十分ノ御審議ヲ煩ハス、無論其ノ原案ハ便宜上政府カラ提出スル譯デアリマスガ、左様ナ譯デアリマスカラ、從來デモ事實憲法トカ何トカ云フモノハ、專制政府デアツタト云フヤウナ點ハ別ト致シマシテ、少クトモ形ノ上ニ於テハ民主的ニ行ハレテ居ツタ又今後ニ於テハ憲法モ改マリ、又憲法ノ改マラナイ今日ニ於キマシテモ、今回ノ議會ト云フモノハ民主的立場ニ立ツテノ議會デアリマシテ、其處ニ税法ガ掛ケラレル譯デアリマス、御話ノヤウニ單ニ上カラ押付ケタ税トハ言ヘナイト思ヒマス

○田中(實)委員　私ガ押付ケタト申上ゲマシタノハ、法規トカ規則ニ依ツテ押付ケタト云フ意味デハアリマセヌ、決シテ一人ノ獨裁的ナ者ガ無理矢理ニ押付ケタト云フ意味デハナイノデアリマスカラ、御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

ソレカラモウ一ツ御尋ネ申上ゲタイト思ヒマスノハ、先程一寸御

質問致シマシタ所得調査委員ト云フヤウナモノモ、民主的ニ而モ實情ニ即シタ改革ヲシナケレバナラヌト云フコトヲ御話ニナリマシタ、御尤モデアルト思ヒマスガ、私ハモウ一ツ所得調査委員ト云フヤウナ制度ヲ實質的ニ飛躍シタヤウナ制度ニ於テ、一般ノ民ヲ納税ノ實際ノ仕組ミノ中ニ取入レ、サウシテ國民モ納得シテ納税ガ出來ル、又官モ安心シテ正シイ納税ナリト認メルヤウナ、所謂官民合體ノ一ツノ法制ヲ御立テニナルト云フコトガ是カラノ民主主義的ナ最モ望マシイ一ツノ制度デアルト思ヒマスガ、其ノ點ドウ云フ風ニ御考ヘデゴザイマセウカ

○石橋國務大臣　是モ何等カ具體案ガアリ、ソレガ實行可能デアレバ結構ダト思ヒマス

○田中(實)　時間モアリマセヌノデ、今ノ問題ニ付テハ又他日機會ヲ得テ御尋ネ致シタイ點ガアリマスガ、此ノ點ハ打切リマシテモウ一ツ御尋ネ致シタイト思ヒマス、ソレハ遊興飲食税ノ點デアリマスガ、遊興飲食税ハ御示シニナッテ居リマス此ノ税制改正ニ依ル増收見込額ノ中ニ五億一千六百萬圓ト御算定ニナッテ居リマスガ、此ノ御算定ノ基礎ヲ承リタイノデアリマス

○池田(勇)政府委員　遊興飲食税見積リハ、他ノ租税ト同ジヤウニ最近ノ課税状況、又政府ノ施策等ヲ勘案致シマシテ見込ンデ居ル次第デゴザイマス

○田中(實)委員　數字的基礎ヲ

○池田(勇)政府委員　五億一千六百萬圓ノ内譯ハ、大體花代、又ハ其ノ他ノ花代、是ガ合計デ一億七千萬圓程度ニナッテ居リマス、ソレカラ飲食料、是ハ花代ヲ伴フ飲食料モ入ッテ居リマスガ、是ガ三億一千萬圓、旅館ノ宿泊等ニ對シ課税致シマスモノガ三千六百萬圓、合計五億一千六百萬圓デアリマス

○田中(實)委員　此ノ點ニ付キマシテ一ツ大藏大臣ニ御伺ヒ致シタイト思フコトナラ、私ハ結論ヲ端的ニ申上ゲマスルガ、遊興飲食税ト云フモノハ悪税デアル、又其ノ沿革等ニ付キマシテ、今日ノ實情ト甚ダシク副ハナイト云フ點ニ付キマシテハ、同僚諸君カラ完膚ナキマデソレ〲御意見モアリ、御質問モアッタノデアリマスノデ、其ノ點ニハ觸レタクナイト思ヒマス、唯今日ノ實情ニ於キマシテハ、遊興税ト云フ點ニ付キマシテハ、尚ホ私モ一應考慮スベキ點ガ相當アルノデハナイカ、斯樣ニ考ヘテ居リマスガ、少クトモ今日ノ食糧事情下ニ於キマシテ、飲食店ガ一般ノ食糧緩和ノ爲ニ盡シテ居ル所ノ、所謂貢獻シテ居ル所ノ役割ハ相當ニ多イノデアリマス、此ノ國民大衆ニ非常ニ大キナ影響ヲ持ッテ居ル所ノ飲食税ト云フヤウナモノハ、少クトモ私ハ此ノ機會ニ撤廢ヲシテ戴キタイ、斯ウ云フコトヲ私ハ御願ヒスルノデアリマス、サウ云フ私ノ意見ヲ申上ゲマシタ時ニ、恐ラク之ニ對シマシテハ、税ノ收入ニ大キナ缺陷ヲ生ズルト云フコトヲ御指摘ニナルダラウト思フノデアリマスガ、私ハ此ノ遊興飲食税ノ見積額ニ對シマシテモ非常ニ、杜撰ト申上ゲマスト失禮デアリマスケレドモ、自信ノナイ數字ヲ御示シニナッテ居ルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、私ハ税ニ關スルコトニ付キマシテハ、全クノ素人デアリマスノデ、却テ御叱リヲ受ケルヤウナコトニ相成ルカモ分リマセヌケレドモ、今日全國ニ於キマシテ、飲食業者ト稱スル者ハ四十萬乃至五十萬アルト云フコトヲ申サレテ居リマス、果シテ四十萬乃至五十萬ノ業者ガ眞實ニアルカナイカト云フコトニ付テハ、私ハ的確ナ數字ヲ把握致シテ居ラナイノデアリマスガ、常識的ニ左樣ナコトヲ申シテ居リマス、併シサウデナクトモ、此ノ參考資料ノ中デ御示シニナッテ居リマス昭和十九年度ノ三月現在ニ於ケル是等ノ業者ハ、十六萬一千幾ラニナッテ居リマスガ、當時十六萬數千ノ業者ガアッタト云フコトデアリマスナラバ、終戰後ノ状況ニ於キマシテハ、是ガ四十萬ニナリ、五十萬ニナルト云フコトハ、是ハ常識的ニ考ヘテモ當然ダラウト思フノデアリマス、此ノ澤山ノ業者ガ、而モ免税點ガ十圓以上ノモノヲ取扱フト云フ者ハ、殆ド其ノ大部分ダラウト思フノデアリマスニ、此ノ計算カラ致シマスレバ私共素人ノ大摑ミナ計算カラ致シマシテモ、恐ラク嚴正公平ニ課税ガ徴收出來マシタナラバ、私ハ五億、十億位ノ豫算ヲ御組ミニナルト云フコトハ、聊カ其ノ實情ト去ル所ガ遠イノデハナイカト思フノデアリマス、斯樣ナ觀點カラ考ヘマス時ニ、ヤハリ政府自ラモ此ノ遊興飲食税ト云フモノガ實際ニ徴税ガ不可能デアル、實際ニ其ノ技術上ニ於テ非常ニ困難ガ伴フ、故ニ是ハ極メテ内輪ニ見積ラナケレバナラヌト云フヤウナ御考ヘノ下ニ見積ッテ居ラレルノデハナイカト云フコトヲ私共ハ疑ハレルノデアリマス、若シ左樣ナコトガ私ノ考ヘテ居リマスヤウデアリマシタナラバ、私ハ茲ニ飲食税ヲ御撤廢ニナリマシテモ、嚴正公平ナル遊興税ノ徴收ニ依リマシテ、此ノ財源ノ補塡ハ出來ルト考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ前段申シテ居リマスヤウニ、私素人デアリマスノデ、誤ッテ居リマシタナラバ御教ヘヲ戴キタイト思フノデアリマスガ、左樣ナ考ヘ方カラ見マシテ、此ノ法ノ威信ニ拘ハルヤウナ、實際ニ於テ官ニ於カレマシテモ、末端マデ遺憾ナク其ノ公正ナル適用ヲ見ルコトガ出來ナイト云フヤウナ御考ヘヲ御持チニナッテ居ルヤウナ法律ヲ、何時マデモ殘シテ置クト云フコトハ、私ハ國ノ威信ニモ拘ハルト思ヒマス、又納税ニ對スル國民ノ義務心ヲ少クスル、又納税ニ對スル信頼ヲ少クスルト云フヤウナ、幾多ノ影響ガアルノデアリマスノデ、此ノ際大臣ハ最モ勇敢ニ飲食税ヲ御撤廢ニナルト云フ御意思ハナイカアルカト云フコトニ付テ御伺ヒ致シタイノデアリマス

○石橋國務大臣　遊興飲食税ノ色色御話ノ内容ニ付キマシテハ、尚ホ事務當局カラ申上ゲル機會ガアラウト思ヒマスガ、無論此ノ税ガ餘リ好モシイ税デナイト云フコトハ私モ能ク承知シテ居リマス、何レ整理ニ移サナケレバナラヌモノデアリマスルガ、唯本年度ハ其ノ他ニ物品税等ノ關係ガアリマシテ單リ遊興飲食税ダケヲ動カスト云フコトハ、他ノ税トノ關係上却テ不釣合ヲ生ズル懸念ガアル、斯ウ云フコトデ今年度ハ此ノ税ヲ存續シタ譯デアリマス、併シナガラ是ハ成ベク早イ機會ニ整理致スベキモノデアリマシテ、屢々申上ゲマスヤウニ、今後税制ノ改革ヲ調査シ、明年度カラ實行スル場合ニ於テハ、是等ニ付テハ根本的ナ改革ガ行ハレルベキモノト信ジテ居リマス

○田中(實)委員　率直ナ御意見デアリマスルガ、既ニ大臣ガ左樣

ニ此ノ税制其ノモノニ對シ惡税デアル、或ハ又今日ノ實情ニ副ハナイモノデアルト云フコトヲ御認識ニナリマシタ以上ハ、私ハ須ク其ノ收入ノ缺陷ニ甚ダシキ影響ノナイ限リハ、少クトモ飲食税ダケハ御撤廢ニナルト云フコトガ國民ノ信頼ヲ博スル所以ダラウト私ハ考ヘテ居リマスルノデ、重ネテ私ハ御願ヒヲ申上ゲマスルガ、ソレ等ノ點ニ付テ能ク御調査ノ上、之ヲ御撤廢ニナルヤウニ御運ビニ相成リタイト云フコトヲ、重ネテ御願ヒ申上ゲマス

○苫米地委員　大藏大臣ハモウ宜シウゴザイマスカ

○田中(實)委員　宜シウゴザイマス――只今ノ大藏大臣ニ御尋ネ致シマシタコトニ付キマシテ、局長ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○池田(勇)政府委員　遊興飲食税ノ存廢或ハ改正ニ付キマシテノ私ノ意見ハ大臣ト同樣デゴザイマス、唯御述ベニナリマシタ御説ニハ、我々ノ考ヘテ居ルノト餘程食違ツタ點ガアリマスノデ、其ノ點ヲ申上ゲタイト思ヒマス、遊興飲食税ノ納税者十六萬一千ト云フノハ前ノ數字デゴザイマシテ、最近ノ調査ニ依リマスト、昭和十九年九月末ニ於キマシテハ十九萬軒ゴザイマシタノガ、昭和二十年十一月一日ハ、卽チ昨年ノ十一月一日ニハ九萬三千軒ニナツテ居リマス、今年ノ四月一日ハ十萬五千軒ニ殖エテ居リマスルガ、昔ノ常數ヨリハ餘程減ツテ居ルヤウデゴザイマス、脱税ノ問題ニ付キマシテ御説ノヤウニ或ル程度ノ脱税ハ我我モ知ツテ居リマス、調査致シマスルト、大體調査致シマシタ中デ七、八「パーセント」ノ脱税者ヲ認メル狀況デゴザイマス、今問題ニナツテ居リマスル脱税ハ、内地本邦人デナシニ、ソレ以外ノ國人ノ經營スル飲食店ニ於ケル税金ガ納マツテ居ナイト云フコトガ主タル問題ダト思フノデアリマス、邦人ノ營業者ニ付キマシテハ、營業者ガ納税團體ヲ組織致シマシテ、各人ガ團體員ノ税額ヲ知リ合ヒ、オ互ヒニ脱税ノナイヤウニ努力致シ、又牽制シ合ツテ居リマスノデ、全體的ニ見マシテサウヒドイ脱税ハナイト考ヘテ居リマス、サウシテ五億一千六百萬圓ハ非常ニ見込ヲ内輪ニシテ居ルノデハナイカ、脱税ヲ考ヘテ内輪ニシテ居ルノデハナイカ、斯ウ云フ御話デゴザイマスルガ、決シテサウデハゴザイマセヌ、遊興飲食税等ノ問題ハ、政府ノ施策ニ依リマシテ餘程變ツテ來ルノデアリマス、高級料理店ノ廢止トカ或ハ藝者ガ料理屋ニ入ルコトハ禁止スルトカ又色々ナ價格ノ點カラ申シマシテ、非常ニ見込ミガ難シイノデゴザイマス、今年ノ二月ニ於キマスル遊興飲食税ハ、一箇月デ一億圓餘リモ徴收シタ、併シ三月ニナリマスト是ガ四千萬圓位ニ減ツタ、斯ウ云フ狀況ガゴザイマシテ、見込ミハ相當困難デゴザイマスルガ、政府當局トシテ脱税ヲ豫想シテ見込ミ額ヲ減スト云フコトハ絶對ニ致シテ居リマセヌ、ドウゾ其ノ點ハ御諒承願ヒタイト思フノデアリマス

○田中(實)委員　今數字的ノ御示シヲ戴キマシタ、私ノ考ヘテ居リマスコトハ、素人考ヘデ誤ツテ居ルカモ分リマセヌガ、先程申シマシタヤウニ過般是等ノ業者ノ全國大會ガ東京デ開カレタコトハ御承知ノ通リデゴザイマスガ、之ニ代表トシテ參加致シマシタ者ダケデモ約二萬ト云フコトデアリマスレバ、是ハ常識的ニ考ヘマシテモ全國的ニ九萬ヤ十萬ノ業者チヤナイト考ヘラレルノデアリマス、若シソレガ正規ノ手續ヲ以テ税務署其ノ他ニ屆出タ業者デアリマスレバ、ソレハ御示シノ通リデアルト私ハ考ヘマスガ、ソレニアラザル所ノ所謂業者ハ、恐ラク十萬ヤ二十萬デハナイト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、若シ實際ニ於テ當局ノ御調ベニナリマシタ數字ガ正シイト云フコトデ、此ノ數字ニ依ツテ豫算ヲ御組立ニナルト云フコトデアリマスナラバ、私ハ少クトモ當局ハ現實ニ眼ヲ掩ウテ居ラレルノダト申上ゲテモ過言デハナイト思フノデアリマシテ、一歩私共ガ家ヲ出マスレバ最近ノ狀況ハ今仰セニナリマシタ色々ナ施策ニ依リマシテ、一時的ナ現象ハアリマスケレドモ、今マデニ於キマシテハ凡ユル方面ニ於テ此ノ飲食業者ハ實ニ夥シク數ヲ增シテ居ルノデアリマス、斯樣ナ現狀カラ考ヘマスル時ニ、私ハ相當之ニ對シテ公正ナ而モ技術的ニソレガ出來得ルヤウナ方法ニ依ツテ徴税ヲ致サレマスルナラバ、今日御見込ミノ如キ額ハ極メテ其ノ一部分ダト云フヤウナコトサヘ考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ點ハ當局ト私トノ見解ノ相違カモ分リマセヌケレドモ此ノ點ニ付テハ尚ホ一歩能ク御研究ニ相成ツテ然ルベキ重要ナ問題デアラウト思フノデアリマス、是等ノ問題ガ遊興飲食税ニ對スル世間ノ非難ヲ解消シ、之ヲ急速ニ撤廢スルコトガ出來ルカ出來ナイカト云フコトヲ決定スル大キナ鍵デアラウト思フノデアリマス、只今御示シニナリマシタ數字ハ、常識的ニ考ヘテ、私ハドウシテモ承服スルコトガ出來ナイ、此ノ點ニ付テ重ネテ承リタイト思ヒマス

○池田(勇)政府委員　遊興飲食税ヲ課スベキ業者ガ三十萬、四十萬居ルト云フ御意見ニハ私ハ承服致シ兼ネマス、只今ノ調査ハ税務署デ十分調査致シマシタ資料ヲ集メタモノデゴザイマス、何分ニモ都市ガ非常ニ戰災其ノ他デ荒廢致シテ居リマスノデ、最モ料理店ノ多イ市制施行地ノ數ガ非常ニ減ツテ參リマシタカラ、私ハ只今申上ゲタ數字ガ確カナモノダト考ヘテ居ルノデアリマス、又遊興飲食税五億一千六百萬圓ガ過少ダト云フ考ヘガアルカモ分リマセヌガ、是ハ一昨年ノ税收入七億數千萬圓ニ比ベマシテ、今ノ場合トシテハ決シテ税率ノ下ツタ過少ナ見積リデハナイト思ヒマス、唯問題ハ先程申上ゲマシタヤウニ政府ノ施策等ニ依リマシテ動クモノデゴザイマス、計算ガドウシテモ此ノ通リニナルノダト云フコトハ申上ゲ兼ネマス、唯其ノ點デ故意ニ税額ヲ過少ニ見積ツタト云フコトハ私ハ承服出來ナイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

○田中(實)委員　局長ノ御意見ト私ノ考ヘルコトトハ明カニ見解ノ相違デアリマスカラ、是レ以上追究スルコトハ止メタイト思ヒマス、最後ニ一ツ承ツテ置キタイト思ヒマスルガ、臨時利得税ガ今回廢止ニナルト云フコトニ付テ案ヲ御示シニナツテ居ルノデアリマス、此ノ場合ニ於キマシテ個人ノ臨時利得税ハ本年度ハ課税スルト云フコトニ相成ツテ居ルヤウニ承知シテ居ルノデアリマス、私共ノ諒承致シテ居リマス一ツノ例ヲ擧ゲマシテモ、所得ノ總收入以上ノ税ヲ出サナケレバナラヌト云フヤウナ人ガヤルヤニ私ハ聞イテ居リマスガ、是ハ洵ニ穩ヤカデナイ、現實ニ百萬圓ヨリ收益ガナイモノガ百萬圓以上ノ税金ヲ納メナケレ

バナラヌト云フヤウナコトハ、法人ニ對スル臨時利得税ノ撤廢ト考ヘ併セマシテ少クトモ私ハ不公平デハナイカ、斯樣ニ考ヘマスガ、此ノ點ドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居リマスカ、伺ヒタイト思ヒマス

○池田(勇)政府委員 臨時利得税ハ御承知ノ通リ昭和十年カラ事變ニ依ル特ニ利得ノ增加シタ法人、個人ニ課税スル税デ今マデヤツテ參ツタノデアリマスガ、戰爭ガ終了致シマシタ今日、此ノ税ハ意味ヲ成サナクナツタノデ個人ニ付テハ昭和二十二年カラ廢止スルコトニ致シタノデアリマス、個人ノ臨時利得税ガ實際ノ所得カラ申シマシテ臨時利得税、所得税等ノ控除シキレナイ程、即チ所得ヨリモ臨時利得税ノ方ガ高ク掛ルト云フ風ナコトハ私ハナイト考ヘテ居リマス、若シゴザイマスレバ實例ヲ示シテ戴キタイ、唯其ノ時ニ御注意願ハナケレバナラヌコトハ、營業税ヲ損金ト見タ場合ノ計算ヲ私ハ申上ゲテ居ルノデゴザイマス、決シテ所得ヨリモ税金ガ多クナルト云フ税率ハ含ンデハ居リマセヌ、ドウゾサウ云フ風ニ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

○田中(實)委員 ソレデハ其ノ實例ヲ一ツ御示シ致シマスガ、本年度ノ所得額ガ百五十五萬圓ニ決定致シタモノガ、政府當局ニ御算定ヲ願ヒマシタ時ニ、二百二十五萬圓ノ税金ヲ納メナケレバナラヌト云フ税務署ノ通牒ヲ受ケテ居ルノデアリマス、是ハ明カニ其ノ所得ヲ超エルコト實ニ夥シイモノガアルト思フノデアリマス、是ハドウ云フ算定ノ方法ニナツテ居リマスカ

○池田(勇)政府委員 具體的ノ問題デゴザイマスカラ、其ノ方ノ營業利得ナリ讓渡利得ナリ之ヲ見マシタ上デコチラデ計算致シマス、決シテサウ云フコトハナイ筈デアリマス、若シアレバ何カノ間違ヒダト考ヘテ居リマス

○田中(實)委員 私ノ質問ハ是デ終リタイト思ヒマス、大臣モ非常ニ御忙シイノデ御歸リニナリマシタガ、最後ニ次官竝ニ局長ニ特ニ御願ヒ申上ゲタイ、先程大臣ニ向ツテ私ガ御願ヒ申上ゲマシタコト竝ニ私ノ意見トシテ開陳致シマシタコトニ付キマシテハ極メテ今日必要デアルト云フコトヲ強ク信ジテ申上ゲタコトデ、之ニ對シテハ或ル程度大臣ノ御贊成ヲ得テ居ル點モアリマスカラ、是等ニ付テハ省內ニ於テ適當ニ御協議願ツテ、成ベク私共ノ考ヘテ居ルヤウナ方向ニ向フヤウニ御盡力戴キタイト云フコトヲ御願ヒ申上ゲマシテ私ノ質問ヲ打切リタイト思ヒマス

○苫米地委員長 ソレデハ次ニ江川爲信君ヨリ質疑ヲ願ヒマス

○江川委員 私ハ主トシテ地方税制ニ付テ御尋ネ致シタイト存ジマスガ、先般來內務大臣ハ本會議ニ或ハ當委員會ニ於テ、地方財政ノ自主性ヲ強調サレテ居ルノデアリマスガ、全ク私共モ之ニ同感デアリマシテ、此ノ際ニ於テハ飛躍的ニ地方財政ニ自主性ヲ持タシ、地方財政ヲ中央ノ手カラ解放致ス、具體的ニ申シマスナラバ、有力ナ財源ヲ中央カラ地方ニ委讓致シマシテ、地方財政ニ彈力性ヲ持タセルト共ニ、自主性ヲ強化スル、斯ウ云フヤウニシナクテハ地方自治ノ民主化ノ實ハ到底上ラナイト存ズルノデアリマス、斯樣ニスルコトニ依ツテ地方ノ自治ガ民主化サレ、其ノ機能ヲ發揮サレマシテ、今回ノ知事公選制度ト云フモノモ初メテ生キテ來ルト存ズルノデアリマス、然ルニ今回御提案ニナリマシタ地方税制ノ一部ノ改正案ハ全ク舊態ヲ改メル所ガナイ、依然トシテ有力ナ財源ハ中央ニ於テ之ヲ掌握シ、還付税或ハ配付税ノ名ニ於テ之ヲ地方ニ分與シテ居ル、全ク地方財政ノ自主性ト云フモノヲ蹂躙シテ居リマス、思フニ是ハ依然トシテ、官僚ノ支配慾ト云フモノガ地方自治ノ上ニ強ク働イテ行カウト云フヤウニモ想像サレルノデアリマス、內務大臣ハ此ノ地方財政ノ自主性ヲ強化スルト云フコトニ付キマシテ、或ハ府縣住民税ト云フモノヲ新設スル、或ハ町村住民税ノ限度ヲ引上ゲル、更ニ地方ノ獨立税ヲ許可スル途ヲ開イタ、是ガ即チ地方財政ノ自主性ヲ強化シタノデアルト云フ工合ニ說明サレテ居ルノデアリマスガ、併シナガラ之ニ依リマシテ、非常ニ庶民階級ガ重税ノ爲ニ苦シムノデアリマス、有力ナ財源ヲ中央ニ於テ握ツテ置イテ、或ハ獨立税ヲ許シタ、或ハ府縣民税ヲ新設シタト云フコトハ、丁度底引網デ根コソギ浚ツテ置イテ、アトハ自由ニオ前等網ヲドシテ魚ヲ獲リナサイト云フ形デアル、デアリマスカラ、ソコデ魚ヲ獲ラウトスルナラバ、其ノ底引網ノ網ノ目カラ逃ゲタ小サナ魚ヲ狙フヨリ外ハナイ、即チソレハ庶民階級ナリ勤勞階級ナリ農民デアル、サウ云フモノヲ對象トシテ、新シキ税金ヲ課スヨリ外ナイ結果ニナルノデアリマシテ、今回ノ地方税制ノ改正ハ、其ノ地方財政ノ自主性ヲ決シテ強化シナカツタト云フコト、庶民階級ニ對シテ重税ヲ課スルト云フコト、此ノ二ツノ缺陷ヲ持ツテ居ルト存ジマスルガ、之ニ對シテノ御意見ヲ御聽キシタイト思ヒマス

○郡政府委員 地方財政ノ自主性ヲ強化致シマスルコト、地方財源ヲ強化致シマスルコト、是等ニ付テ深キ御考ヘヲ戴イテ居ルコトハ洵ニ感謝ニ堪ヘナイコトデアリマス、他ノ地方制度ガソレ自體ニ於キマシテ指導性ヲ持ツト申シマスルカ、啓發性ヲ持ツト申シマスルカ、制度自身トシテ相當先行シ得ル性格ヲ持ツテ居ルノニ比ベマシテ、地方税制ナリ地方財政ニ付キマシテハ、何處マデモ實情ニ即シテ參ラナケレバナラヌ、又地方税ガ國税トノ關聯ヲ常ニ考慮シテ參ラナケレバ相成ラヌ、左樣ナ狀態カラ考ヘマスルト、終戰後ノ狀況ト云フモノガ、茲ニ根本的ナ改革ヲ加ヘマスルニハ、他ノ財政經濟トノ關聯ノ問題及ビ現在極メテ變動期ニアリマスル地方財政ノ現況是等ノ狀態カラ成ベク速カニ根本的ノ改善ヲ講ジタイトハ考ヘテ居リマスルケレドモ、現在ノ段階ニ於テナシ得ルコトヲ可急的ニ致スト、此ノ限度ニ止ラザルヲ得ナイノデアリマス、左樣ナ見地カラ致シマスルナラバ、現ニ地方團體ニ於キマスル負擔ノ均衡ヲ圖ツテ參リマス又財源配分ノ適正ヲ圖ツテ參リマス、是等ノ爲ニハヤハリ還付税制ナリ配付税制ナリ、ソレノ根本ニ付テノ論モアリ得ルノデアリマスルガ、是等ノ制度ト云フモノニハ、尙ホ相當地方財政トシテ依存シテ參ラナケレバナラヌ部分モアルノデアリマス、隨ヒマシテ前提ニ於テ急激ナル改革ヲドサズニ、其ノ限度ニ於テ、一方ニハ歲入ニ於テ有力ナ財源ヲ創設シ、一方ニ於テハ急增致シマスル需要ヲ滿タシマスル爲ニハ、此ノ度ノヤウナ還付税、配付税ノ增額、或ハ府縣民税ノ創設、市町村民税ノ增税ト云フモノヲ致サナケレバナラ

ナカツタノデアリマス、併シ之ニ依リマシテ仰セノ如ク、非常ニ庶民階級ト申シマスカ、ソレ等ノ階層ニ著シク負擔ヲ掛ケテ居ル、是ハ一方ニ於テハ名目的ナト申シマスカ、國民ノ收入所得ハ相當ノ增加ヲ致シテ居ルコトハ認メテ宜シイコトト思フノデアリマス、隨ヒマシテ賦課方法ニ付キマシテハ十分愼重ナル考慮ヲ要スルノデアリマスケレドモ、是等ノ府縣民税ノ創設ヤ市町村民税ノ增税ト云フモノハ現在ノ程度ニ於キマシテ、是ガ著シク或ル階層ニ對シマシテ重課ニ相成ルト云フヤウナ結果ニナルコトモ避ケテ參ルコトガ出來ヨウト思フノデアリマス、唯國税、地方税ヲ通ジマシテ、相當一人當リノ負擔ガ增シテ參リマス、是ハ認メザルヲ得ヌコトトハ思ヒマスルガ、是等ノ負擔ノ配分ト云フモノハ、是ハ適正ニ行フコトガ出來ルト思フノデアリマス、是等ノ財源ヲ新シク得マスルコトト合ハセマシテ可及的ニ國ノ財政ト調和シ得マスル限度ニ於キマシテ、負擔區分ヲ是正致シマシタリ、一方財源ヲ擴充スルコトニ依リマシテ、自主性ノ強化ニ付テモ一歩ヲ進メル、併シ仰セノ如ク、更ニ根本的ナ改革ト云フモノハ時機ヲ見テ是非致シタイ、斯樣ナ工合ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○江川委員 庶民階級ニ對スル重税ニ對シマシテハ、後程申上ゲタイト存ジマスルガ、先ヅ以テ只今ノ御話デハ、現在ノ段階ニ於テ急激ナル變動ヲ行フコトヲ避ケタト云フヤウナ御話デアリマシタガ、併シナガラ敢ヘテ急激ナ變動ヲ避ケナクトモ、地方財政ノ自主性ト云フモノヲ、假令收入ノ點ニ於テ變ラナクトモ、其ノ名ノ下ニ於テ心持ノ上ニ於テ、立派ニ自主性ヲ持タセルト云フ税金ガアルノデアリマス、即チ還付税デアリマスルガ、此ノ還付税ハ國ニ於テ徴收致シマシテサウシテソレヲ其ノ儘地方ニ還付スル、斯ウ云フ所ノ税金デアリマス、此ノ還付税ノ中デモ家屋税デアルトカ、或ハ地租デアルトカ斯ウ云フヤウナ税金――營業税ハ是ハ全數府縣ニ關聯スル税金デアリマスルカラシテ、是ハ其ノ儘府縣ニ委讓スルト云フコトモ出來ナイコトハアリマセヌ、出來ナイコトハアリマセヌケレドモ、即刻ヤルニハ、此ノ地租竝ニ家屋税ヲ其ノ儘地方ニ委讓スル、サウスルコトニ依ツテ却テ此ノ徴税上ノ手數モ省ケル、又交付金等ノ如キモノヲ地方ニ交付シナクトモ濟ム、即チ國家ノ經費ノ上ニ於テモ大ナル節約ヲナシ得ル、恐ラク地方交付金ハ三百萬圓以上デアラウト思ヒマスルガ、サウ云フヤウナ經費ダケデモ五、六百萬圓、人件費ヲ加ヘマスルナラバ、一千萬圓以上、斯ウ云フモノガ國ニ於テ節約シ得ラレルモノト存ジマス、即チ此ノ還付税ノ中デ、地租ト家屋税ヲ地方ニ委讓スル所ノ御意思ガナイカドウカ、私ハ是ハ全ク議論ノ餘地ガナイト存ジマスガ、其ノ儘還付致シマシテモ決シテ急激ナル變動ニハナラナイト存ズルノデアリマス、殊ニ地租委讓ト云フヤウナ問題ハモウ三十年前カラノ問題デアル、又家屋税ハ曾テハ地方税デアツタノデアリマス、デアリマスカラシテ、實質カラ申シマシテモ、歴史カラ申シマシテモ、斯ウ云フモノハ全ク地方税トナスベキモノデアル、又地租ニ付キマシテハ、私聞イテ居リマスルノニ、政府部内ニ於テモ、曾テハ是ハ地方ニ委讓スベキモノデアルト云フ議論ガ相當ニ有力デアツタ、所ガ時ノ總理大臣ハ、如何ナル僻陬ノ地ト雖モ是ハ王土デアル、王土ナラザルハ莫シ、デアルカラシテ是ハ名義ダケハ一ツ國税トシテ殘シテ置カウヂヤナイカ、斯ウ云フヤウナ話デアツタト云フコトヲ聞イテ居リマス、併シナガラ今日ハ憲法モ改正サレントシテ主權在民ト云フ所ノ方向ニ向ツテ進ンデ居リマス、土地ニ對スル所ノ觀念モ其ノ當時ノ觀念ト違ツテ參ツテ居ラナケレバイカヌ、サウ致シマスナラバ、觀念論カラ申シマシテモ、實質カラ申シマシテモ、此ノ二ツノ税金ハ是非地方ニ委讓スベキモノ、サウシテ是ハ直チニ斷行致シマシテ、向ニ急激ナル變化ナキモノト信ジマスルガ、之ニ對スル御意見ハ如何デアリマスカ

○郡政府委員 地方財政ノ自主性ヲ強化致シマスル見地カラ致シマスルナラバ、御指摘ノ兩税ノ如キハ完全ナ地方ノ獨立税トシタ方ガ宜イノヂヤナイカト云フ論ハ、世上可ナリニ要望致サレテ居リマスコトデアリマスルシ、事柄自體トシテハ私モ望マシイコトダト考ヘテ居リマス、唯還付税制度ヲ設ケマシタ時ニモ、是等ノ税負擔ノ地域的ナ均衡ヲ圖ツテ參ルトカ、又是ハ理由ガ稍〻間接的ニナルカモ知レマセヌガ、是等ノ還付税ニナツテ居リマスル三税ヲ配分ノ基準ニ用ヒテ配付税ヲ分與致ス、隨ヒマシテ配付税分與ノ公正ヲ期スル點カラモ國税トシテ置ク方ガ望マシイノデハナイダラウカ、斯ウ云フヤウナ見地カラ還付税ト云フ課徴形態ヲ執ツテ居ルコトト存ズルノデアリマス、唯是等ノ課税ノ地域的ナ均衡ヲ圖ルト云フヤウナコトモ、若シ課税標準ノ決定等ヲ國自ラ、國ガ直接行ヒマスルカ、或ハ國ノ指導ニ依ツテ行フカノ方法ヲ執リマスレバ、是モ解決致シ得ル所デアリマス、ソレ等ノ點ニ付テハ方法ニ依リマシテ解決シ得ルコトト存ズルノデアリマスガ、併シ何ト申シマシテモソレ等ノ課税標準ノ決定ヲ如何ニスベキカト云フコト、更ニ根本的ニ兩税ヲ委讓スルカドウカニ付キマシテハ、今少シ技術的ナ檢討ヲ致シタイト思ヒマスルシ、關係方面トノ折衝モ今少シ重ネテ見タイ状態ニアリマスノデ、私ノ考ヘヲ申上ゲマスレバ、完全ナ地方ノ獨立税トスルコトガ好マシイ、其ノ方向ニ向ツテ研究ヲ進メテ見タイ、斯ウ云フ工合ニ申上ゲタイト存ズルノデアリマス

○江川委員 大藏當局ノ之ニ對スル御意見ヲ承リタイト存ジマス

〔委員長退席、殿田委員長代理著席〕

○池田(勇)政府委員 地租、家屋税ノ收入自體ハ、還付税制度ニ依リマシテ全部徴收セラルベキ市町村ニ還ツテ居リマスノデ、財源ニ付テハ問題ハナイト思フノデアリマス、唯昔カラノ非常ナ議論ノアル税デゴザイマスルカラ、之ヲ實質ハモウ既ニヤツテ居ルノデアリマスルガ、形式的ニ地方税ニシテシマフカドウカト云フ問題ハヤハリ今後ノ税制ノ立テ方ト關聯シテ考ヘルベキ問題ト思ツテ居リマス、御意見ノ存スル所、我々モ十分以前ヨリ研究致シテ居ルノデゴザイマシテ、次ニ行フベキ税制改正案ニ付キマシテハ、重要ナ問題トシテ研究致シタイト思ツテ居リマス

○江川委員 次ニ御伺ヒ致シタイコトハ配付税ノ中デ入場税ト遊興飲食税、此ノ二ツノ税金ノ總收入見積リハ何程ニナツテ居リマスカ

○荻田政府委員　二十一年度ニ於キマシテ入場税ガ五億二千七百餘萬圓、遊興飲食税五億一千六百餘萬圓ニナッテ居リマス

○江川委員　私ハ此ノ配付税ノ中デ、只今モ申上ゲマシタ入場税ト遊興飲食税ヲ地方ニ委讓スル御考ヘガナイカト云フコトヲ御尋ネ致シタイノデアリマス、此ノ二ツノ税金ハ是レ亦何レモ地方ノ創意ニ依ッテ創始セラレタル所ノ、地方財源トナッテ居ッタ税金デアリマス、ソレヲ國ニ於テ取上ゲテ、今日ハ國税トナッテ居ルノデアリマスカラ、是ハ其ノ税ノ性質カラ申シマシテモ、度々申上ゲル所ノ地方財政ヲ强化スルト云フ上カラ申シマシテモ、地方ニ委讓スルト云フコトガ是ハ本筋デハナカラウカ、殊ニ入場税ハ民衆ノ娯樂ニ對スル所ノ税金デアリマシテ、遊興飲食税ト云ヒ入場税ト云ヒ、中々徴税上、何ト申シマスルカ、面倒ナ、曖昧ナ税金デアリマス、場合ニ依ッテハ、ト言フヨリモ、モウ殆ド營業者ノ懷ロヲ肥ヤシテ居ルト云フ税金デアル、是ハ全ク徴税上非常ナ面倒ガ伴フ關係デアリマス、ノミナラズ此ノ徴税上色々ナ弊害モ實ハ永ツテ居ルノデアリマス、ヤハリ是ハ本當ニ徴税ノ上カラ申シマシテモ、府縣ノ税金トスルナラバ、府縣ニ於テ徴税上ノ監督或ハ補脱税ニ關スル所ノ取締等モ十分ニ行屆クコトガ出來マセウシ、又此ノ税金ニ付キマシテハ、惡税デアルトカ色々ナ問題モアリマス、事實此ノ免税點ヲ十圓ニスル、斯ウ云フヤウナコトハ全ク大衆ニ對スル所ノ大キナ負擔デアル、デアリマスカラシテ、地方ノ實情ニ應ジマシテ免税點ヲ設ケシメルト云フヤウナ點カラ申シマシテモ、徴税ノ關係ハ只今申上ゲマシタ通リ、斯樣ナ次第デアリマスカラ、之ヲ地方ニ委讓スル、唯茲ニ斯ウ云フヤウナ税金ヲ地方ニ委讓スルコトニ依ッテ、地方ノ財政ヲ調整スルト云フ點ニ遺憾ノ點ガナイカ、斯ウ云フ問題ハ同時ニ起ッテ參ルモノト存ジマス、先程承ル所ニ依リマスト云フト、此ノ二ツノ税金ヲ合ハセマシテ約十億、サウシテ今日配付税トシテ地方ニ交付サレテ居ル税額ハ二十四億何ガシト云フコトヲ昨日承ッタカト存ジマス、サウ致シマスト尚ホ十四億バカリノモノガ地方ニ於テ不足ヲ生ジテ參リマス、是ハ別ナ方法ニ依ッテ、所得税其ノ他ノ收入ニ依ッテ別途ニ御考ヘ下サッテ、サウシテ地方ノ町村ノ財政事情等ヲ勘案シマシテ、サウシテ調整ノ途ヲ圖ル、是ハ幾ラモ途ガアルノデアリマス、デアリマスカラ、此ノ二ツノ税金ハ是非トモ地方ニ委讓スルト云フコトヲ主張スルノデアリマスガ、之ニ對スル所ノ御考ヘハドウカ

○郡政府委員　理論ト申シマスルカ、地方税ノ性格ト申シマスルカ、地方税ト申シマスルモノガ地方團體ノ施設ト關聯ノ深イモノガ好マシイト致シマシタナラバ、地方團體ト申シマスルモノガ地方ノ公共施設ヲ維持經營致シ、地方住民ノ福祉ヲ增進致ス、左樣ナモノガ地方團體デアリマスルカラ、サウ致シマスルト、是等ノ御指摘ノ税ト云フモノハ、地方團體ノ施設トノ關聯ハ非常ニ深イモノデアリマス、サウ云フ點デハ之ヲ地方ノ獨立税ニ返スト云フコトモ考ヘラル、ノデアリマスガ、假リニ地方ノ獨立税トシテ見マスルト、課率ニ致シマシテモ累進ノ程度ニ致シマシテモ、之ヲ相當引下ゲテ參ラナイト、地方税トシテハ適當デナイ、又此ノ兩税ト云フモノハ、收入ノ普遍性トカ、安定性トカ云フ點ニ付テハ稍々缺ケテ居ルモノデアリマス、或ハ戰災後ノ地方團體間ノ財政狀況ト云フモノニハ著シイ不均衡ノ狀態ガ起ッテ居ル、是等ノ現狀下ニ於キマシテ、地方ニ取入レマシテ、サウシテ配付税ノ有力ナ財源ヲ、付與額ヲ減ズルト云フヤウナコトガ適當デアラウカドウデアラウカ、之ニ付テ餘程考ヘテ見ナケレバナラヌ點ガアルト思フノデアリマス、徴税上ノ弊害ノ點ナドモ仰セニナリマシタガ、又地方税ニ致シマシタ時ノソレ等ノ弊害ノ點モ考ヘラル、コトデアリマス、之ニ付テハ餘程能ク今後ノ地方財政ノ動向トモ睨ミ合セテ研究致スベキモノト存ジテ居リマス

○江川委員　此ノ税金ヲ地方ニ委讓スル趣旨ニハ反對ナイヤウデアリマスルガ、唯其ノ內容ニ於テ色色ノ面倒ガアル、殊ニ戰災等ノ爲ニソレヲ地方ニ其ノ儘委讓スルト云フコトニナルト、地方ノ調整ノ上ニ於テ甚ダ缺クル點ガ出來ヤシナイカト云フコトヲ御心配ノヤウデアリマスルガ、私ハ他ノ税ハ別ト致シマシテ、入場税デアルトカ或ハ遊興飲食税、此ノ二ツノ税金ハ、是ハ戰災ニ依ッテハ大シタ影響ガナイノヂヤナイカ、戰災地ニ於ケル所ノ今日ノ狀態カラ見マシテ、遊興飲食者ガ戰災ノ爲ニ非常ニ減ッテ來タトカ、或ハ入場税ニ對スル所ノ關係ガ、戰災ノ爲ニ非常ニ減ッテ來ルト云フヤウナコトデナクシテ、寧ロ今日ノ實情カラ申シマスルト、此ノ二ツノ税金ハ愈々以テ殖エテ行クンヂヤナイカ、斯ウ云フ工合ニ實情カラ見テ豫想サレマス、唯此ノ二ツノ税金ヲ地方ニ委讓スルコトニ依ッテ得ル所ノモノハ、卽チ都市若シクハ都市ニ近イ所ノ町デアル、デアリマスルカラ、農山漁村ハ其ノ恩惠ニ與カル所ガ極メテ薄イ、仍テ農山漁村ニ對スル所ノ財政ノ調整ト云フコトヲ別途ニ考ヘテ戴ケバ宜イ、ソレハモウ此ノ二ツノ税金ヲ地方ニ委讓致シマスルコトニ依ッテ戰災關係ニ深イ關聯ガアルト見ラル、ノハ、是ハ私只今ノ御答辯トハ見解ヲ異ニ致シテ居リマス

○郡政府委員　恐ラク此ノ兩税ヲ取入レマス場合ニ、最モ考ヘナケレバナリマセヌ點ハ、現在此ノ兩税ノ課率ハ相當高イモノニナッテ居リマス、地方税ト致シマシテ其ノ儘取入レルコトハ不可能ニ近イト思ヒマス、左樣ニ致シマス場合ニ、一體地方財政全般ノ上デ果シテ適當ナ措置デアラウカ、又國ノ財政經濟ノ現狀竝ニ今後ノ見透シ、之ニ付テハ御所見モアッタノデアリマスガ、ソレ等ノ點ニ付テノ見透シニ付テモウ少シハッキリシタ狀況ヲ達觀シマシテカラ、何レノ態度ヲ執ルベキカニ付テ內務省トシテハ考ヘタイト存ジテ居ル次第デゴザイマス

○江川委員　專ラ今後ノ調査研究ニ俟ット云フコトデアリマスカラ、ドウカ十分ニ御研究ヲ願ヒマス、兎ニ角今日トシテハ地方ノ財政ニ對シマシテ十分其ノ自主性ヲ强化スルヤウナ途ヲ講ジテ戴キタイト存ズルノデアリマス

次ニ附加税ノ關係デアリマス、地租ト營業税トノ附加税ノ比較デアリマスルガ、色々聞イテ居リマスト地租ノ税金、營業税ノ税金ガ重イトカ輕イトカ色々ニ議論ガアリマスガ、地方税制ニ示サレタ點

カラ見マスト、地租ハ本税、附加税ヲ加ヘマシテ百分ノ二十四、營業税ハ百分ノ十五トナツテ居リマス、サウ致シマストドウモ地租ニ重クテ營業税ニ輕イノヂヤナイカ斯フ云フ感ジヲ持ツ次第デアリマス、今回此ノ率ヲ上ゲラレタ點カラ見マシテモ地租ハ二倍ニ上ツテ居リマス、營業税ハ一・八七デアリマス、今回ノ増率ダケデモヤハリ地租ノ方ガ重イ、又税ノ性質カラ申シマシテ、是ハ先程御話ガアリマシタガ、比較ハ地租ト營業税デハアリマセヌデシタガ、兎ニ角地租ノ對象ハハツキリシテ居リマシテ一分偽ルコトモ出來ナイ極メテ明瞭ナ税金デアリマス、然ルニ營業税ハ比較的明瞭ヲ缺イテ居ル、本當ハ甚ダ明瞭ヲ缺イテ居ルト申上ゲタイガ、上手ニ申シマシテ比較的ト申シマス、比較的明瞭ヲ缺イテ居リマシテ伸縮性ヲ持ツテ居ル、デアリマスカラ此ノ課税標準ノ極メテ明瞭ナ、隱スコトノ出來ナイ地租ニ對シマシテ重イ課率ヲ致シ、サウシテ伸縮性ヲ持ツテ居ル所ノ營業税ニ對シマシテ其ノ課率ガ低イト云フコトハ、コレデモヤハリ逆ナ比率ニナツテ居ルノデハナイカ、固ヨリ決定サレマシタ賃貸價格ノ歴史ニ遡ツテ色々御議論モアルカモ知レマセヌガ、併シナガラ地租ニ對シマシテハ現在賃貸價格ノ除率三十八乃至四十ト云フヤウナ工合ニ抑ヘラレテ居ル、デアリマスルカラサウ云フ點ハ餘リ有力ナ理由ニナラナイノヂヤナイカ、率直ニ率ト云フモノヲ比較檢討スレバソレデ宜イノヂヤナイカト私ハ考ヘマス、之ヲ比較致シマシタ場合ニ於テ地租ハ營業税ニ比ベマシテ餘リニ重イ附加率ヲ取ラレテ居ルノデハナイカト云フ感ジヲ持ツタノデアリマスガ、是ハドウデアリマスカ、兎ニ角今日ハ都市ト農村ト云フモノハ可ナリ心持ノ上ニ於テモ色々ナコトニナツテ居ル、租税ノ上ニ於テモ左樣ナ御取扱ヒニナルト云フコトニナリマスト、甚ダ好マシクナイコトト存ジマスルニ依ツテ、斯ウ云フ觀點カラモ、此ノ兩税ノ比較ニ付テノ御見解ヲ御聽キ致シタイト存ジマス

○池田(勇)政府委員　地租ト營業税トノ負擔割合ニ付テノ御質問デゴザイマスガ、我々ノ信ズル所デハ此ノ程度デ適當ト考ヘテ居リマス、其ノ理由ハ御話ニモアリマシタヤウニ、土地賃貸價格ト云フ地租ノ課税標準ハ、昭和十一年ノ狀況ニ依ツテ決メタノデゴザイマス、隨ヒマシテ其ノ時ノ標準ニナリマス米價ハ全國平均二十圓五十錢ニ相成ツテ居リマス、最近ノ農産物ノ昂騰、殊ニ米價ノ昂騰カラ考ヘマスルト、地租ハ殊ニ田ニ對シマスル地租ハマダ〳〵上ゲ得ルノデハナイカ、唯御承知ノ通リニ米價ハ上ツタケレドモ、貸付ノ土地、宅地等ニ付キマシテ、一概ニ昔ノ契約金額ヨリモ上ツテ居ルトモ言ヘマセヌノデ、斯ウ云フ點ヲ勘案致シマシテ、今ノ税率ニ致シテ居ルノデアリマス、營業税ハハツキリ課税標準ヲ捕ヘテ居ナイノデハナイカ、斯ウ云フ議論ニナリマスト、税率ノ問題デハゴザイマセヌ、我々トシテ實際ニ近イモノヲ捕ヘテ居リマスシ、又捕ヘヤウト努力致シテ居ルノデゴザイマス、此ノ點ハ一應措キマシテ、營業税ハ前年ノ實績ニ依ツテ率ヲ課税スルノデアリマスカラ、決シテ營業税ノ税率ガ低過ギルトハ考ヘテ居リマセヌ、此ノ程度デ地租ト營業税トノ負擔ハ附加税ヲ加ヘマシテ適當デアルト考ヘテ居リマス

○江川委員　昨日ノ御話デアツタト思ヒマスルガ、法律上ノ闇ニハ課税シナイガ、闇ニ依ル所ノ收入ソレハ收入トシテ課税ヲスルト云フ御話デアツタノデアリマス、サウシテ營業税ニ對シマシテハ必要ナ經費ハ差引クコトニナツテ居ル、然ラバ今日農業ノ生産ノ上ニ於テ肥料デアルトカ、其ノ他ノ資材、肥料ハ配給ハ極メテ少イ、ソレ以外ノ資材ハ殆ド想像モ付カザル所ノ闇ヲ以テ買ツテ居ル、又サウ云フ具合ニシナクテハ生産ガ出來ナイ、是レ即チ生産ノ必要ナ條件デアリマス、デアリマスルナラバ闇ハ收入トシテ課税ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、支出ノ方ハ果シテ闇ヲ闇トシテ之ヲ差引クコトニナツテ居ルカドウカト云フコトヲ御尋ネ致シタイ

○池田(勇)政府委員　所得ノ決定ハ實際ノ收入カラ實際ノ支出ヲ引イタモノデゴザイマスカラ、其ノ方ガ公定價格ヨリモ高イ肥料ヲ御買ヒニナリ、又資材モ相當高ク御買ヒニナレバ勿論必要經費トシテ引クベキ筋合ノモノデゴザイマス、又引イテ居ルト私ハ信ジテ居リマス

〔殿田委員長代理退席、委員長著席〕

○江川委員　時間ガ餘リナイノデ私ハ斯ウ云フコトニ付テ水掛論ハ止メマス、併シナガラソコマデマダ税務署ノ方ハ話ガ分ツテ居リマセヌ、併シナガラ此ノ程度デ止メマス

次ニ府縣民税デアリマスルガ、府縣民税及ビ町村住民税、是ハ御承知ノ通リニ曾テノ戸數割ト云フヤウナ税金ニ極メテ類似致シテ居ル、此ノ二ツノ税金ハ府縣並ニ町村ニ於ケル有力ナ財源トナツテ居ル、デアリマスルガ、曾テノ戸數割ハ、或ハ庶民階級ヲ壓迫スル所ノ惡税デアルトカ、又政爭ニ惡用サレル税金デアルト云フ工合ニ非難サレテ參ツタ税金デアツタノデアリマスルガ、本税モ亦斯樣ナ昔ノ非難ヲ復活スルコトハナイカト云フ心配ヲ持ツテ居リマス、之ニ對スル御考ヘハドウデアリマスルカ、ソレニ付キマシテハ、私ハ此ノ税金ニハ豫メ賦課方針ヲ示シテ置カレル方ガ宜イノヂヤナイカ、示ス用意ガアルカドウカ、又本税ノ課税ノ方針ト致シマシテハ、是ハ何處マデモ擔税力ニ依ル所ノ、即チ應能主義ニ依ルノデアルカ、又公民ト致シマシテノ應益主義ニ依ルノカ、斯ウ云フ點ヲ伺ツテ置キタイノデアリマス、若シ此ノ應益主義ニ依ルト云フコトデアリマスナラバ、凡ソ何割位ハ應益主義ニ依リ、サウシテ其ノ他ハ應能主義、擔税力ニ應ジテ課税スルノダ、餘リニ應能主義ガ強ク働イテハ政爭ノ具ニ供セラレル虞ガアル、應益主義ガ強ク働イテハ庶民階級、勤勞無産階級ガ非常ナ重税ヲ課セラレルヤウナ結果ニナル虞ガアル次第デアリマスルカラ、此ノ點ヲハツキリシテ戴イタ方ガ宜シイノヂヤナイカ、御尋ネ致シマス

○郡政府委員　先ヅ應能ヲ原則トスルカ、應益ヲ原則トスルカ、此ノ點ニ付テ一言デ申上ゲマスナラバ、應能ヲ原則トシテ、ソレニ應益ヲ加味シテ行クコトガ、地方團體ノ本質カラ考ヘマシテモ適當デアラウ、此ノヤウニ考ヘルモノデアリマス、府縣民税ナリ市町村民税ナリガ其ノ性格カラ考ヘマシテ、成ベク多數ノ住民ガ相當程度ノ負擔ヲ分任スル體制ニアリマスルコトガ、何ト言ツテモ望マシイ

コトト思ヒマス、隨ヒマシテ相當程度ノモノハ均等割ノ課税ヲ致スト云フ方針ヲ執リ、且ツ一方ニ於キマシテ所得税ト競合致シマスルガ爲ニ、著シイ負擔ノ過重ガ起リマセヌヤウニ、所得トノ關聯モ能ク見テ參リタイト思フノデアリマス、ソレカラ御話ノ中ニゴザイマシタ戶數割ノ再現トナルノデハナイカト云フ御疑問デアリマス、曾テノ戶數割ト申シマスルモノハ、專ラ財政收入ヲ目的ト致シテ居リマシタ、是ハ戶數割ノ最後ノ時分ノコトヲ御考ヘニナリマシテモ、昭和十四年度頃ハ多分町村税收入ノ六割ヲ超エルヤウナ狀況ニアッタノデハナイカト思フノデアリマス、而モ當時ニ於キマシテハ、戶數割ト致シマシテハ平均賦課額ノ制限等モゴザイマセヌデ、有力ナ財源ヲ持タナイ貧弱ナ團體程戶數割負擔ガ重イ、斯ウ云フヤウナ狀況ニ相成ッタノデアリマス、隨ヒマシテ御指摘ノヤウナ戶數割ノ再現ノヤウナコトニナリ、左樣ナ事態ガ起リマシテハ、是ハ由々シキ問題ナノデアリマスルガ、今日ニ於キマシテハ一方ニ地方分與税制ノ實施モアリマシテ、課税力ノ低イ團體ニハソレダケ多額ニ配付税ガ分與致サレ、而モ此ノ度ノ住民税ニ付キマシテハ、其ノ課税ニ付テ一人當リノ平均賦課額ト云フモノモ存在致シテ居リマスルシ、府縣民税、市町村民税ヲ合セマシテ、尙ホ地方税收入ノ三割程度ニ止マルト考ヘラレルノデアリマス、其ノ總額ノ地方税收入ニ於キマスル割合カラ申シマシテモ、又分與税制ト組合セマシテ操作致シマスル點カラ申シマシテモ、戶數割ノヤウナ負擔過重ニ陷ルコトモナケレバ、又戶數割ノヤウナ、地域的ノ不均衡ヲ生ズルコトモ避ケテ參ルコトガ出來ルト存ズルノデアリマス、而シテ是等ノ税ノ賦課ノ方法、殊ニ府縣民税ハ新シク創設致シマシタノデ、是等ノソレゾレノ條例等ヲ以テ規定致サルベキ基準ニ付キマシテハ、相當詳細ニ之ヲ指示致シテ運用ニ誤リナキヲ期シテ參リタイト考ヘテ居リマス

○江川委員　只今ノ御答ヘノ中デ戶數割ハ制限ハナカッタ、今度ハ制限ガアルカラシテ其ノ心配ハナイ、斯ウ云フ御話デゴザイマスガ、當時無制限ナ戶數割ノソレヨリモ、今度ノ制限ハ遙カニ大キイノデアリマス、當時ノ無制限ノ時代ニ課セラレタ所ノ戶數割ト云フモノハ、先ヅ一戶平均三十圓モ課シタナラバ非常ナ重イモノデアル、非常ニ重イ町村デアルト言ハレタノデアリマス、然ルニ今回ハ既ニ四十圓、六十圓、合セテ百圓、斯ウ云フヤウナ譯デアリマスルカラシテ、ソレダケ制限ガ付シテアルカラ心配ハナイト云フヤウナ御議論ハ私ハドウカト思ヒマスルガ、此ノ點モ決シテ此ノ上更ニオ互ヒガ彼此レ申上ゲ合ヒヲショウトハ考ヘマセヌ

次ニ御尋ネ致シタイノハ、制限外ノ課税デアリマスルガ、住民税ヲ國税三税ニ對シテハ五〇%マデハ制限外課税ヲスルコトガ許サレルノデアリマスルガ、所得税デアルトカ、入場税デアルトカ遊興飮食税ト云フ税金ハ是ハ配付税ト致シマシテ、國ノ方デ握ッテ居リマス爲ニ、之ニ對シマシテハ制限外課税ガ出來ナイ、是ハ比較ガ甚ダドウモ妙ナモノヲ比較スルト云フ工合ニ御取リニナルカモ知レマセヌケレドモ、併シナガラ所得税ノ如キハ是ハ曾テハ國税三税ト致シマシテ國税三税ト申シマスルト所得税、營業税、地租斯ウ云フモノデアッタノヲ今日ハ變ッテ參ッタノデアリマスルガ、曾テノ國税三税ノヤウナ税金ノ有樣カラ申シマシテモ、ドウモ所得税ガ制限外課税ノ圈外ニ逃レテ居ルト云フコトガ何ダカドウモ私共頭ニピッタリ來ナイ、尤モ是ハ租税ノ規則ノ上ニ於テハ、附加税ヲ禁ズルト云フコトニナッテ居リマスルカラ、法規ノ建前カラ申シマシテ、附加税ヲ取ルコトハ出來ナイコトハ承知シテ居リマス、併シナガラ私ハ斯ウ云フヤウナ點ノ均衡カラ申シマシテモ、是ハ入場税ヤ遊興飮食税ハ、是ハ地方ニ委讓致シマシテ、サウシテ所得税ニ對シマシテハ本税ヲ輕減致シマシテ、サウシテ地方ニ對シテ附加税ヲ認メル、斯ウ云フ方法ヲ開カレテ、サウシテ制限外課税ノ必要ガアルナラバ營業税ニ對シ制限外課税ヲスルト同時ニ、所得税ニ對シマシテモ制限外課税ヲスルト云フ途ヲ開イテ、サウシテ地方財政ニ彈力性ヲ持タセルト云フコトニ御努メヲ願ヒタイト存ズルノデアリマスルガ、サウ云フ意思ガナイカドウカト云フヤウナコトヲ聽クト云フノハ野暮ナ話デ、サウ云フコトニナッテ居ナイノデ、サウ云フ意思ハナイト仰シャルコトハ決マッテ居リマスルガ、將來ノ税制ノ改正ニ於キマシテ、斯ウ云フ點ハ十分ニ御考ヘヲ願ヘルカドウカト云フコトヲ御尋ネ致シタイ

○郡政府委員　地方統制ニ有力ナ人税ヲ投入致スト云フコト、是ハ地方財源ヲ強化スルノダト云フコトハ、論ジラレモ致シマスルシ、ソレ自體モ相當理由ノアルコトダト存ズルノデアリマス、唯所得税ハ現行ハ御覽ノ通リ源泉課税ニ依ッテ居リマスモノガ多イノデアリマス、之ニ付テ附加税制ヲ採リマスト云フコトハ事柄自體ガ困難デアルカノヤウニ存ズルノデアリマス、既ニ所得税附加税ヲ廢止致シマシタ時モ一方ニ於テハ勿論國税ノ體系ヲ確立スルト云フ一ツノ方針ガアッタ譯デアリマスルガ、同時ニ又地域的ニ偏在ヲ致シ、又徵税技術ノ點カラ申シマシテモ、地方税トシテ必ズシモ適當ダト云フ工合ニモ思ハレマセヌ爲ニ當時ニ於キマシテモ、一部ノ團體ニ於テハ、之ニ依ッテ税收入ガ減少致シ、彈力性ヲ喪失シタト云フモノモアッタノデアリマシテ、事ノ事柄自體ハ當時モ相當檢討致シタノデアリマスルガ、局部的ナ現象トシテ是ハ已ムヲ得ヌコトト云フ工合ニ考ヘテ現在ノヤウナ制度ニ致シタノデアリマス、ソレデ只今ノ現行ノ税制ノ下ニ於キマシテ、附加税制ガ困難デアリマスル上ニ、自治ノ基本デアル擔分任ト云フヤウナ意味合デノ人税ハ、之ヲ税制ノ上ニ顯現スル爲ニハ、寧ロ住民税ノ方ガヨリ廣イ範圍デサウ云フ目的ヲ達スルコトガ出來ルノデハナカッタカ、斯樣ニ考ヘマシテ、此ノ度ノ住民税ノ引上創設ト言ヒマスモノハ、人税的ナ彈力ヲ地方税制ニ加ヘタモノト考ヘルコトガ出來ルノデアリマシテ、是モ確カニ世上論ゼラレモ致シ、又檢討致サナケレバナラナイ問題デアリマスケレドモ、中央、地方ノ租税體系自身ニ重要ナ或ル根本的ナ變更ヲ齎ス問題デモアリマスシ、遽カニ著手スルコトハ相當困難ガアル問題カノヤウニ存ジテ居リマス

○江川委員　建築税、廣告税、特別行爲税ト云フヤウナ税金ガ今回廢止ニナルヤウデスガ、是ハドウ云フ理由デ廢止ニナルカ、其ノ廢止ノ理由ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○池田(勇)政府委員　建築税、廣告税、特別行爲税廢止ノ理由ハ、先ヅ建築税ニ付テ申上ゲマスト、御案内ノ通リ建築税ハ燒失家屋ノ再建ニ付テハ課税シナイコトニ致シテ居リマス、今新タニ建築スルヤウナ場合ハ殆ドサウ云フ場合デアルコトヲ考ヘマシテ廢止致シマス、廣告税ハ御承知ノ通リ可ナリノ手數ヲ要スルモノデゴザイマス、誰ガ此ノ税ヲ負擔スルカト云フコトニ付テモ疑義ガアリマス、又收入ノ點カラ申シマシテモ、非常ニ微細ナモノデゴザイマスノデ、出來ルダケ租税ト云フモノハ數ヲ少クシタイ、所謂税制ノ簡素化ト云フ意味カラ廢止致シタノデアリマス、又特別行爲税ニ付キマシテハ、其ノ課税對象ガ美容トカ、染色仕立ハ或ハ寫眞或ハ書畫ノ表裝、斯ウ云ウ雜多ナモノガ入ツテ居リマシテ、又徴税技術上カラ申シマシテモ、相當ノ面倒サガアルモノデゴザイマスカラ、此ノ際手數ヲ緩和シ又税制モソレダケ簡素ニ相成リマスノデ、收入ノ點等ヲ考ヘマシテ廢止致シマシタ次第デゴザイマス

○江川委員　是ハ地方ニ於テ獨立税トシテ創設ヲ致サウトスル場合ハ許可ニナル御方針デアルカドウカ

○郡政府委員　御指摘ノ税ノ中デ建築税ハ不動産取得税ト重複シテ參ルト思フノデアリマスガ、其ノ他ノ税ニ付キマシテハ當該地域ノ擔税者ノ状況並ニ當該團體ノ財政状況ヲ檢討致シマシテ、適當デアリ、特別ノ支障ガナケレバ許可ヲシテ參ルト云フ方針ヲ採リタイト思ツテ居リマス

○江川委員　織物消費税ノ中デ綿織物ト「ステープル・ファイバー」ニ對シテ新タニ課税サレマシタノハドウ云フ理由デアリマスカ

○池田(勇)政府委員　綿織物又、「ステープル・ファイバー」ノミヲ以チ組成シタ織物ニ付キマシテモ、他ノ織物ガ相當ノ税率デ織物消費税ガ課税サレルコトト考へ合ハセマシテ、斯ウ云フ品物ニモ、百分ノ十程度ノ安イ税率ナラ課税シテ然ルベキダト考ヘタ次第デアリマス

○江川委員　昨日米酒ノ配給ノ話ガアリマシタガ、米ヲ完納致シマシタ町村ニ對シ、部落毎位ニ取纒メマシテ、サウシテ委託醸造サセルト云フヤウナコトヲ御認メニナルカドウカ、是ハ即チ米ヲ完納スル所ノ一ツノ奬勵方法ニモナリマスルシ、又濁酒ガ非常ニ衞生上惡イト云フ話デアリマスルカラ、此ノ衞生上ノ關係モ解消サレマス、國ノ方ニ於キマシテハ税收入ヲ得ラレル、此ノ三ツノ利益、三得ガアルノデアリマスルガ、之ヲ御認メニナルカドウカト云フコトヲ御尋ネ致シタイト思ヒマス

○池田(勇)政府委員　供出米ヲ完納シタ部落ニ對シマシテ、部落ヲ單位トシテ委託醸造ヲ認メルカ、斯ウ云フ御質問デゴザイマスガ、米ノ供出ガ非常ニ旨ク行キマシテ、サウ云フ制度ヲ認メテモ米ノ隱匿ガナイト云フコトヲ前提ニ致シマスレバ、相當考慮シテ宜イ問題ト思ヒマス、唯農家ノミガ他ノ職業者ヨリモ非常ニ貴重ナ酒ヲ澤山手ニ入レ得ルト云フ非難モ亦アルト思ヒマス、併シ供出方法ガ萬人ノ認メルヤウナ巧イ方法デ行キ、サウシテ農家エ對スル委託醸造ノ限度モ或ル程度致シテヤツテ行クコトニナレバ、所謂農村ノ不足ノ酒ヲ或ル程度緩和シ、密造防止ニモナリ、又他面供出促進ニモ役立ツヤウニナレバ、斯ウ云フ問題ハ本年ノ米ノ割當等ト考へ合ハセマシテ、將來研究致シテ見タイト思ヒマス

○江川委員　私ハ最後ニ結論ト云フカ、申上ゲタイノデアリマスルガ、地方ノ財政ハ申上クルマデモナク、最近非常ニ大キナ膨脹デアリマス、先般ノ職員ノ優遇ダケデモ三倍ノ殖エ方デアル、又目下審議中ノ生活保護法ガ愈々實施ニ相成ルナラバ、之ニ依ル所ノ府縣竝ニ町村ノ負擔ト云フモノモ可ナリ大キナモノデアル、斯ウ云フ點、其ノ外或ハ戰災ノ復興デアルトカ、失業對策デアルトカ、色々ナ點モ亦地方ハ地方ナリデソレ相當ノ施設ヲシナケレバナラヌト存ズルノデアリマス、斯ウ致シマスルナラバ、是等ノ地方財政ト云フモノハ實ニドウモ大キナモノデアル、隨テ此ノ財源ノ關係ニ於テモ實ニモウ曾テ想像モシナカツタ程ニ大キナ膨脹ヲ示シ、大キナ事業ヲ要スルト私ハ信ジマス、サウ致シマスルナラバ、ドウシテモ制限外課税ト云フ所ニ持ツテ行カナケレバ、到底賄ヒガ付カナイト想像致シマス、斯樣ニ制限外課税ヲ致シテ、サウシテ庶民階級ニ至ルマデ一律ニ課スル所ノ、或ハ府縣民税或ハ町村ニ對スル住民税、一方ニ於テハ先程承ツタ通リ、今日マデ農山漁村ノ爲ニ一ツノ恩惠ニ依ツテ免レテ居ツタ所ノ綿織物ニ對シテマデモ課税ヲスル、ソレニ依ツテ作業衣等ハ今後相當ニ高クナルト云フヤウナ關係モアル、即チ課税ハ重クナル、又生活關係ノモノハ高クナル、生産ニ要スル所ノ條件ハ愈々益々經費ガ膨脹スル、唯國税ダケヲ見テ居ルト、大シテ大キナモノデナイカモ知レナイガ、之ニ對スル地方ノ或ハ用水費或ハ町内會費、部落ノ萬雜割、近來頻々トシテ要求サレル所ノ寄附金、教員ノ待遇ガ惡イト云フノデ之ニ對スル寄附金等モ可ナリ大キナモノデアル、斯ウ云フヤウナコトヲ一々見マスルト、府縣住民ノ負擔ハ實ニ大キナモノデアル、デアリマスカラ、是ハ今後ノ生活ノ上ニ於テ非常ニ大キナ重壓ニナツテ行ク、今回ノ租税ハ恐ラク生活ノ上ニ大キナ脅威トナツテ參ルト存ズルノデアリマス、デアリマスカラ、各府縣ニ於テ今後新設セントスル所ノ此ノ新税、是ハ府縣ノ賄ヒヲスル上ニ於テ、制限外課税デ賄ヒ切レナケレバ、何トシテモ血眼ニナツテ新税ヲ漁ル、今マデ免レテ居ツタ所ノ車馬税或ハ縣税營業税、遊興税、甚ダシキハ御許シニナルカナラヌカハ知リマセヌガ、國税カラ免レテ居ル所ノ特別所得税マデ一應考ヘテ見ナケレバナラナイト云フ程ニ、新税ニ對シテハ漁リ益スルヤウニナリハシナイカ、サウスルコトガ軈テ庶民階級、勤勞無産階級ノ生活ノ上ニ大キナ壓迫トナツテ來ル、斯ウ云フ次第デアリマスカラ、將來ニ於テハ十分此ノ課税ノ上ニ於テ御斟酌ヲ御願ヒスルト同時ニ、今後各府縣ニ於テ創設セントスル所ノ新税ニ對シテモ、何處マデモ庶民階級ヲ壓迫シナイヤウニ、壓迫スルコトナキヤ否ヤト云フ點ニ十分ノ御考慮ヲ願ツテ、サウシテ許可ノ方針ヲ決定サレンコトヲ要望スル次第デアリマス、私ハ是デ質問ヲ打切リマスガ、之ニ對スル當局ノ御考ヘヲ伺ヒタイト思ヒマス

○郡政府委員　此ノ度ノ税制ノ改革ニ於キマシテハ、戰災ニ依リマスル減收、豫想致サレマスル財政需要ノ増加ニ付テハ之ニ對處スル財源ノ附與ヲ一應制限率ヲ以チマ

シテ充足致シ得ルヤウニ按配致シテアルノデアリマス、随ヒマシテ例ヘバ職員ノ待遇改善ノ如キ、年度ノ途中ニ於テ新タニ増加致シテ參リマスモノニ付テハ、國庫補助等ニ依ツテ此ノ財源ヲ與ヘマスルヤウニ努力ハ致シテ居ルノデアリマス、唯併シナガラ、何ト申シマシテモ國モ地方モ財政ガ非常ニ逼迫致シテ居リマスル爲ニ、經理ハ仰セノ通リ極メテ容易ナラヌモノガアルト思フノデアリマス、随ヒマシテ地方ガ色々ナ工夫ヲ致シテ財源、税源ヲ得ントスルコトモ考ヘラレルコトデアリマシテ、是等ノ場合ニ能ク均衡ノ取レマシタ又御話ニアリマシタ庶民階級ノ重課ニナラヌヤウニ、是ハ一ツノ重要ナル根本方針ト致シマシテ、今後地方財政ノ指導ニ當ツテ參リタイト存ジマス

○苫米地委員長　ソレデハ本日ハ是デ散會致シマス、明日ハ午前十時カラ開會致シマス

午後零時十六分散會

昭和二十一年十月二十三日印刷
昭和二十一年十月二十四日發行
衆議院事務局
印刷者　印　刷　局